

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検・評価報告書

令和元年8月

岡山県津山市教育委員会

目 次

	ページ
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
1 点検及び評価の導入の目的	1
2 対象事業と点検・評価の方法	1
3 学識経験者による知見の活用	2
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	2
平成30年度教育委員会の活動状況	3
1 教育委員	3
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 教育長代決処理案件	4
4 教育委員会議決案件	4
5 教育委員会協議案件	5
6 教育委員会傍聴者の状況	6
7 教育委員協議会の開催状況	6
8 各懇談会	6
9 教育委員会会議以外の活動状況	7
各施策の点検・評価	11
1 個の確立とつなぐ力を育む【幼児教育】	12
(1) 幼児教育の充実	12
1 個の確立とつなぐ力を育む【学校教育】	14
(2) 義務教育の充実	14
(3) 教育環境の充実	26
2 身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】	29
(1) 青少年の健全育成の推進	29
(2) 家庭・地域の教育力の向上	31
3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む	
【生涯学習・スポーツ・文化】	35
(1) 生涯学習環境の整備	35
(2) スポーツ活動の充実	40
(3) 芸術・文化活動の充実	45
(4) 歴史文化の継承と文化財の保存・活用	48

学識経験者の総評	5 3
今井 元子 (元行政職員)	5 4
中井 充 (元中学校校長)	5 7
今後の教育委員会の対応の方向性	6 1
資料	6 7
(1) 平成 3 0 年度津山市教育行政重点施策の体系	6 8
(2) 平成 3 0 年度教育予算の内訳	6 9
(3) 平成 3 0 年度教育委員会の組織機構と事務分掌	7 3

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について

1 点検及び評価の導入の目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。そして、教育委員会が協議決定した教育方針と施策について、教育長が統括する事務局が広範かつ専門的な教育行政事務を執行するものです。

このようなことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地教行法) 1により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たすものです。また、同時に平成 29 年 3 月に策定した「第 2 期津山市教育振興基本計画」(計画実施年度 平成 29 年度~33 年度)の、定期的な点検と進行管理を毎年度行います。

2 対象事業と点検・評価の方法

(1) 対象事業

津山市教育委員会が策定した「平成 30 年度教育行政重点施策」への取組並びに達成状況について、項目別に点検・評価を行いました。

(2) 評価方法

各項目別に【施策の概要】、【主な取組の評価】、【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】を記載。

【施策の概要】は「項目の施策の概要と評価」を、【主な取組の評価】は「取組結果と成果、課題と今後の方向性」を記載。また、【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】は、第 2 期教育振興基本計画の各項目における重点取組の当該年度実績、達成率、進捗率、事業の課題と今後の方向性等を記載。

重点取組の見方と項目の説明は次のとおり。

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
小中学校施設整備事業		36棟	51棟	64.7	64.7	津山市学校施設更新整備方針に基づき、計画的年次的な施設整備を行う。
安全安心対策事業 小中学校の防犯カメラの設置率	68.6%	94.3%	100.0%	81.8	94.3	囲障や防犯カメラを未整備の小中学校から順次計画的に整備し、学校のセキュリティ体制を強化していく。

第2期教育振興基本計画で設定した35の取組。1つの取組に複数指標があるものはそれぞれ記載した。

・基準値（計画策定時）：H27実績
・現況値（H30数値）：年度末の数値
・目標値（H33）：第2期教育振興基本計画で定めたH33年度の目標値

・達成率：目標値（H33）に向けて実施した取組の達成の度合いを示したもの。
・進捗率：目標値（H33）に対し、現在どの位置にあるかを示すもの。
達成率の表示が困難である場合は以下のとおり表す。（進捗率も同じ）
数値を減らすことを目指す等、上記の計算式を用いることが適当でないもの「達成・未達成」事業の中止、統計の中止等、達成率の算出が不可能であるもの「 」
基準値欄に記載がない場合は、基準値を0として算出する。

（3）点検・評価の期日

平成31年3月31日

（4）報告・公表

令和元年9月津山市議会へ報告し、津山市教育委員会ホームページに掲載するとともに事務局での閲覧を行います。

3 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教法第26条2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされているため、外部評価者2名の総評を付し、点検・評価の客観性を確保しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年6月30日法律第162号） 抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成30年度教育委員会の活動状況

1. 教育委員

氏名	役職	委員就任年月日	現任期
ありもと 有本 あきひこ 明彦	教育長	平成30年4月1日	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日
おじま 尾島 くにあき 邦昭	教育長職務代理者 (平成30年4月1日 ～平成31年3月31日)	平成29年4月1日	平成29年4月1日 ～令和3年3月31日
もり 森 なおみ 尚美	委員	平成24年10月1日	(平成24年10月1日 ～平成28年9月30日) 平成28年10月1日 ～令和2年9月30日
ながえ 長江 まりこ 真理子	委員	平成26年12月25日	(平成26年12月25日 ～平成30年12月24日) 平成30年12月25日 ～令和元年12月24日
てらもと 寺元 たかゆき 貴幸	委員	平成26年12月25日	平成26年12月25日 ～平成30年12月24日
みつおか 光岡 ひろふみ 宏文	委員	平成30年12月25日	平成30年12月25日 ～令和4年12月24日

2. 教育委員会会議の開催状況

(定例会・・・「定」、臨時会・・・「臨」)

月 日	定・臨	教育長等の の報告	議 案	協 議	報 告	その他
4月26日	定	0	8	0	7	3
5月24日	定	0	3	6	3	1
6月28日	定	0	3	0	5	0
7月26日	定	2	3	1	4	3
8月 6日	臨	0	1	0	0	0
8月16日	臨	0	1	0	0	0
8月20日	定	0	1	4	3	0
9月27日	定	0	6	0	2	3
10月25日	定	0	1	0	4	2
11月19日	定	0	4	3	5	6
12月20日	定	0	4	0	6	2
1月24日	定	0	2	0	5	2
2月21日	定	0	1	16	3	3
3月12日	臨	0	1	0	0	0
3月22日	定	0	6	0	5	3
合 計		2	45	30	52	28

定例会12回、臨時会3回開催

3. 教育長代決処理案件

(非)は非公開とした案件

月 日	議 決 案 件
7月26日	津山市教育委員会処務規則の一部改正について 津山市生涯学習推進本部の設置及び運営に関する要綱の一部改正について

4. 教育委員会議決案件

(非)は非公開とした案件

月 日	議 決 案 件
4月26日	津山市公立学校の事務長の命免について 校務を分担する主任等の命免について 津山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命について 津山市教育支援委員会委員の委嘱について 津山市特別支援教育推進センター職員の委嘱及び解嘱について 津山市青少年育成指導委員の委嘱について 津山市社会教育委員の委嘱について 津山洋学資料館協議会委員の任命について
5月24日	平成30年度津山市立小・中学校 学校評議員の委嘱について 津山市公民館運営審議会委員の委嘱について 津山市指定管理者審査委員会(教育委員会生涯学習部)委員の委嘱及び任命について
6月28日	津山市教育相談センター鶴山塾運営委員会委員の委嘱について 津山市歴史文化基本構想等審議会委員の委嘱(追加)について 津山市スポーツ推進審議会委員の委嘱及び解嘱について

7月26日	津山市教育支援委員会教育支援専門員の委嘱及び任命について 津山市立図書館協議会委員の任命について 津山市史編さん委員会委員の委嘱について
8月6日	平成31年度教科用図書の採択について（非）
8月16日	生涯学習部職員に関する人事案件について（非）
8月20日	平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
9月27日	津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱について 旧妹尾銀行林田支店条例施行規則の改正について 津山市立幼稚園規則の一部を改正する規則について 津山市立幼稚園規則の規定に基づく学級数等の告示について 津山市立幼稚園通園バスの利用に関する要綱について 津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
10月25日	平成30年度津山市立小・中学校 学校評議員の委嘱及び解嘱について
11月19日	津山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命について 平成30年度末津山市立小・中学校教職員人事異動方針について 津山市子ども・若者支援地域協議会設置要綱について 津山郷土博物館協議会委員の委嘱について
12月20日	津山市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 津山市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について 津山市教育相談センター鶴山塾運営委員会委員の委嘱及び解嘱について 平成31年度津山市立図書館の休館日について
1月24日	津山市青少年育成指導委員の委嘱及び解嘱について 津山市公民館運営審議会委員の委嘱及び解嘱について
2月21日	津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
3月12日	平成30年度末津山市立学校教職員人事異動について（非）
3月22日	津山市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について 津山市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則について 津山市立学校管理規則の一部を改正する規則について 津山市生涯学習推進本部の設置及び運営に関する要綱の一部改正について 津山市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 津山市文化財保護委員会委員の委嘱について

5. 教育委員会協議案件

（非）は非公開とした案件

月 日	議 決 案 件
5月24日	平成30年度6月補正予算について（非） 大崎小学校校舎大規模改修建築工事 工事請負契約について（非） 新野小学校校舎大規模改修建築工事 工事請負契約について（非） 勝加茂小学校校舎・屋内運動場大規模改修建築工事 工事請負契約について（非） 誠道小学校校舎大規模改修建築工事 工事請負契約について（非） 指定管理者の指定について（非）
7月26日	教科書採択について
8月20日	平成30年度9月補正予算について 旧妹尾銀行林田支店条例の一部を改正する条例について 津山市立幼稚園条例の一部を改正する条例について 津山市西エリア幼稚園・二宮公民館複合施設新築工事請負変更契約について

11月19日	平成30年度12月補正予算について 指定管理者の指定について 指定管理者の指定について
2月21日	平成30年度3月補正予算について 平成31年度当初予算について 勝加茂小学校校舎・屋内運動場大規模改修建築工事 工事請負変更契約について 第4次津山市子ども読書活動推進計画の策定について 津山市公民館条例の一部を改正する条例について 久米ふれあい陶芸センター条例の一部を改正する条例について 勝北陶芸の里工房条例の一部を改正する条例について 津山市加茂町文化センター条例の一部を改正する条例について 津山市勝北文化センター条例の一部を改正する条例について 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山条例の一部を改正する条例について 津山市立文化展示ホール条例の一部を改正する条例について 旧妹尾銀行林田支店条例の一部を改正する条例について 津山洋学資料館設置条例の一部を改正する条例について 津山市体育施設条例の一部を改正する条例について 津山市久米総合文化運動公園市民プール条例の一部を改正する条例について グラスハウス条例の一部を改正する条例について

6. 教育委員会傍聴者の状況

月 日	内 容
10月25日	10月定例教育委員会 傍聴者1名
11月19日	11月定例教育委員会 傍聴者2名
12月20日	12月定例教育委員会 傍聴者2名
2月21日	2月定例教育委員会 傍聴者2名
3月22日	3月定例教育委員会 傍聴者2名

7. 教育委員協議会の開催状況

月 日	協議題数	月 日	協議題数	月 日	協議題数
4月26日	3	5月24日	3	6月28日	1
7月26日	4	8月20日	2	11月19日	2
12月20日	4	1月24日	2	2月21日	2
3月22日	3				

10回開催

8. 各懇談会

月 日	内 容
10月 1日	市長と教育委員会の懇談会

9. 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 学校訪問

月 日	訪 問 校 及 び 訪 問 施 設	
	小・中学校	小・中学校以外の施設
5月17日	中道中学校、高倉小学校	グラスハウス、津山陸上競技場
5月29日	北小学校（通級指導教室含む）、高田小学校、勝加茂小学校、	広野公民館、国分寺跡
6月14日	成名小学校、大崎小学校、鶴山小学校、	市立図書館
6月18日	鶴山中学校、佐良山小学校、秀実小学校	
6月19日	新野小学校、加茂小学校、加茂中学校	津山洋学資料館
6月26日	西小学校、向陽小学校、久米中学校、中正小学校	

小学校14校、中学校4校、小・中学校以外の施設6施設

(2) 研究会・発表会

月 日	会 場	事 業 名
10月23日	鶴山幼稚園	岡山県幼稚園・こども園教育研究大会 「人とつながりながら遊び込める幼児をめざして」 ～心と体を動かして主体的に遊ぶことを通して～
11月15日 ～16日	ベルフォーレ津山	津山市小・中学校音楽研究演奏会

(3) 記念式・行事等

月 日	行 事 名
4月15日	第26回津山加茂郷フルマラソン全国大会
7月28日	津山市こどもまつり
10月 7日	第47回つやま市民スポーツ祭
10月16日	第24回津山市立幼稚園合同保育 ワイワイまつり
1月13日	第69回津山市成人を祝う会
3月30日	西東三鬼賞表彰式

(4) 入学(園)式・卒業式

月 日	内 容
4月10日	市内27小学校入学式
4月11日	市内8中学校入学式
4月12日	市内12幼稚園入園式
3月12日	市内8中学校卒業式
3月15日	市内12幼稚園卒業式
3月19日	市内27小学校卒業式

(5) 視察

月 日	視 察 内 容
2月 6日	教育委員行政視察 ・香川県高松市(高松市教育委員会、高松市立川添小学校) 「外国語教育の取り組みについて」

(6) 会議・総会・研修会(教育長会議を含む)

月 日	会議・研修名	場 所
4月 5日	美作地区市町村教育委員会4月定例会教育長会議	津山教育事務所
4月25日	平成30年度教育問題懇談会	岡山県総合教育センター (吉備中央町)
5月 2日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	作東総合支所(美作市)
5月 8日	美作地区市町村教育委員会5月定例会教育長会議	津山教育事務所
5月24日	第1回津山市総合教育会議	津山市役所
6月 6日	美作地区市町村教育委員会6月定例会教育長会議	津山教育事務所
6月 4日 ~26日	平成30年6月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
6月22日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会	津山市勝北公民館
7月 5日	美作地区市町村教育委員会7月定例会教育長会議	津山市役所東庁舎
8月 8日	津山市学校教育研究センター全員研修会	ベルフォーレ津山
8月27日 ~9月26日	平成29年9月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
9月 6日	美作地区市町村教育委員会9月定例会教育長会議	津山教育事務所
10月 4日	美作地区市町村教育委員会10月定例会教育長会議	真庭市北房小学校
11月 1日	美作地区市町村教育委員会11月定例会教育長会議	津山教育事務所
11月 6日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会	ライフパーク倉敷
11月 9日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	真庭市中央図書館
11月14日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会	鏡野町ペスタロッツ館
11月21日 ~11月22日	平成30年度市町村教育委員会研究協議会	大阪市中央公会堂
11月26日 ~12月18日	平成30年12月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
11月29日	美作地区市町村教育委員会12月定例会教育長会議	津山教育事務所
1月 9日	美作地区市町村教育委員会1月定例会教育長会議	津山教育事務所
1月30日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第3回定例会	浅口市健康福祉センター
2月 7日	美作地区市町村教育委員会2月定例会教育長会議	津山教育事務所
2月12日	第2回津山市総合教育会議	津山市役所
2月20日	岡山県・津山市教育委員の意見交換会	岡山県庁

2月25日 ～3月19日	平成31年3月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
3月6日	美作地区市町村教育委員会3月定例会教育長会議	津山教育事務所

(7) 定期発行冊子等

発行名	発行担当課	内容
平成30年度教育行政重点施策	教育総務課	教育委員会の基本方針、具体的施策等を紹介。年1回発行。
平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書	教育総務課	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検・評価したもの。年1回発行。
津山市教育委員会広報誌 つやま市教委かわら版	教育総務課	教育委員会や教育関係施設の活動を紹介したもの。年3回発行。
教育相談だよりNOW	生涯学習課(鶴山塾)	鶴山塾の教育相談状況などを紹介したもの。(教職員向け)年1回発行。
年報津山弥生の里	文化課(弥生の里文化財センター)	弥生の里文化財センターの事業概要等を紹介したもの。年1回発行。
津山城だより	文化課(弥生の里文化財センター)	津山城の調査・研究を紹介したもの。年1回発行。
津山スポーツだより	スポーツ課	施設の行事や教室案内等を紹介したもの。月1回発行。
津山市幼稚園 未就園児対象 園開放の紹介	こども課	津山市内の未就園児を対象にした園開放について、学期ごとに実施日や内容を紹介したもの。年3回発行。
津山郷土博物館年報	文化課(郷土博物館)	博物館活動の記録を紹介したもの。年1回発行。
津山郷土博物館だより 津博	文化課(郷土博物館)	イベントや講座、研究ノート等、博物館情報を紹介したもの。年4回発行。
津山松平藩町奉行日記	文化課(郷土博物館)	博物館所蔵資料を紹介したもの。年1回発行。
企画展図録	文化課(洋学資料館)	年4回の企画展のうち、秋季企画展の展示資料を紹介したもの。年2回発行。
洋学資料館(機関誌)	文化課(洋学資料館)	企画展や講演会、資料解説等、洋学資料館の情報を紹介したもの。年2回発行。
洋学研究誌 一滴	文化課(洋学資料館)	研究論文、資料、企画展等を紹介したもの。年1回発行。
津山市史だより	津山市史編さん室	会議等の活動記録、研究ノート等、編さん事業に関する情報を紹介したもの。年3回発行。

生涯学習通信「まなびい」	生涯学習課	生涯学習に関する講座や公民館活動等を紹介したもの。年1回発行。
中央公民館だより	生涯学習課(中央公民館)	中央公民館の活動状況等を紹介したもの。年3回発行。
津山市立図書館だより	図書館	施設利用案内やイベント等を紹介したもの。月1回発行。
津山市立図書館概要	図書館	図書館の統計や活動の記録を紹介したもの。年1回発行。

平成30年度外部評価者(本報告書の作成に係る学識経験者)

氏名	所属等
今井 元子	元行政職員
中井 充	元中学校長

各施策の点検・評価

1 個の確立とつなぐ力を育む【幼児教育】

(1) 幼児教育の充実

【施策の概要】

ア 教育の質の向上と環境整備	担当課	こども保育課
<p>就学前教育保育の質の向上に向けて、公立・私立保育園（所）・認定こども園・幼稚園合同研修会として、特別支援教育に関する研修会、1・2・3年目研修会をはじめ、保育教育現場のニーズに対応した内容の研修を企画し、多数の出席により熱心に知識を深めることができた。</p> <p>特別支援教育の充実に向け、実態把握に努め、津山市特別支援教育センター通級指導教室幼児部等の関係機関と連携して、年4回の特別支援スキルUP研修会を開催して、特別支援に関する専門性の向上に努めた。</p> <p>改定後の幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育・要領について研修会を開催して、改訂内容を学び合い、これから求められる就学前教育・保育のあり方について学ぶことができた。</p> <p>保幼小の連携に関しては、教育委員会と連携を密にとり、「津山市における保幼小接続カリキュラム」を作成するとともに、保幼小連携研修会を開催し、各園・小学校共にお互いに、保幼小の交流や連携の重要性を感じ、意識を高めることができた。</p>		

【主な取組の評価】

幼児教育の質の向上	担当課	こども保育課
<p>取組結果と成果</p>	<p>「人とつながりながら遊び込める幼児をめざして～心と体を動かして主体的に遊ぶことを通して～」を研究テーマとした第59回岡山県幼稚園・こども園教育研究大会の開催に向けて、研鑽を重ね、研究紀要・指導計画の作成、保育・環境構成の見直しを行った。当日は、鶴山幼稚園を会場として、公開保育や鳴門教育大学附属幼稚園 佐々木晃園長の講演を開催し、幼児教育の質を高めることにつなげることができた。</p> <p>幼稚園経営計画書・教育課程等を基に、園運営や教育活動を行い、年間3回の学校評価委員会の実施結果を保護者に公表した。また、保護者のアンケートによる内部評価を保育に活かすことができている。</p> <p>津山市立教育・保育施設再構築計画に基づき、公立幼稚園の7つの役割を意識した基本計画の作成、開園・閉園に向けての取組を実施した。また、小規模園の課題である集団教育による幼児の育ちを促すため、合同保育の推進を行い、各園共に互いの良さを刺激し合い、保育内容の充実を図ることができた。</p>	
<p>課題と今後の方向性</p>	<p>通級指導教室と連携しながら、特別支援教育や幼児教育・乳幼児保育がつながり合っ、保育現場の実践力を高める取組を継続していく必要がある。</p> <p>幼児が体を思いきり動かすことの機会不足、体幹の低下などの課題があることから、美作大学と連携し、体力の向上・集中力・自尊感情の向上を図るため、リズムジャンプを公立保育所・認定こども園・幼稚園で取り入れるとともに、市全体でリズムジャンプ指導者研修会を開催し、リズムジャンプを推進していく。</p>	
教育保育機関の連携	担当課	こども保育課
<p>取組結果と成果</p>	<p>津山市における就学前教育・保育カリキュラム委員会や各関係機関と連携して、社会福祉法人総社保育園において、「心にいっぱい風をうけて - 自分らしさを発揮する子どもをめざして - 」をテーマに、倉敷市立短期大学保育学科 准教授 木戸啓子氏を講師として招き、公開保育研修会と講演会を開催し、今、求められる保育のあり方についてをお互い学び合うことができた。</p> <p>保幼小連携に関して、教育委員会と連携を密にとり、「津山市における保幼小接続カリキュラム」を作成することができた。また、接続カリキュラムを基に、保幼小研修会を開催し、連携・接続を深めていくきっかけとなった。</p> <p>保育園・認定こども園・幼稚園合同研修会では、松蔭大学コミュニケーション文化学部子ども学科 教授 山下文一氏を講師として招き、「地域・家庭との連携を深める～子どもの育ちをつなぐ「お便り」の作成～」をテーマに研修会を開催し、演習を行いながら今、幼児教育保育に求められるものを学び合うことができた。</p>	

課題と今後の方向性	教育委員会と連携を図り、保幼小連携担当者会を開催し、公開保育や公開授業を通してお互いを知る機会を持つなど、昨年、作成した「津山市における保幼小接続カリキュラム」を基に、保幼小の連携・接続の充実を目指す。また、小学校との接続をテーマにした内容の研修会を開催し、保育園（所）・認定こども園・幼稚園・小学校に接続・連携の望ましい在り方を広めていく。	
特別支援教育の充実		担当課 こども保育課
取組結果と成果	特別支援を必要とする幼児の実態に応じて特別支援員を配置したり、津山市特別支援教育推進センター通級指導教室幼児部等と連携して、公立幼稚園・保育所・認定こども園の職員を対象に年4回「特別支援スキルUP研修会」や「特別支援教育公開保育」を開催し、特別支援教育の専門性を高めることに努めた。 公立・私立保育園（所）・認定こども園・幼稚園の職員を対象に「特別支援に関する研修会」を開催した。「気になる幼児への特別支援の視点を取り入れた保育を探る～一斉保育と個別支援の両面から～」をテーマに、ノートルダム清心女子大学 人間生活学部児童学科 准教授 青山新吾氏を講師に迎え、約60名が参加して、特別支援教育に関する専門性の向上を図ることができた。	
課題と今後の方向性	特別支援を必要とする乳幼児に対し、保育現場において適切な支援を行うために、特別支援に関する専門性の向上を図ることやインクルーシブ教育の推進を行うことが課題である。 通級指導教室幼児部において、引き続き定住自立圏の取り組みの充実を図り、ニーズのある幼児の支援を行う。	
環境の整備		担当課 こども保育課
取組結果と成果	「津山市立教育・保育施設再構築計画」に基づき、津山地区（旧津山市内）において、公立幼稚園12園を閉園し、平成31年4月の「つやま西幼稚園」、「つやま東幼稚園」の開園に向けて準備を行った。	
課題と今後の方向性	教育保育のニーズに応じた「つやま西幼稚園」の建設を進め、新園の設備の充実を図ると共に、なめらかに新園がスタートできるようにする。	
認定こども園への移行促進		担当課 こども保育課
取組結果と成果	地域における教育・保育の実情やニーズに応じて柔軟に子どもを受け入れる認定こども園への移行がスムーズに図られるように、制度の周知や支援を行っている。	
課題と今後の方向性	引き続き、地域の実情に応じた、教育・保育環境の充実のため、支援を行っていく。	

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
公立幼稚園における学校評価 公立幼稚園において学校評価を実施	全園で完全実施	全園で完全実施	学校関係者評価委員による評価を実施（100.0%）	達成	達成	園長がリーダーシップを発揮し、職員の資質向上と幼児教育の充実を図っていく。
教育・保育施設在園児数 教育・保育施設に在園する園児の数	4,026人	3,707人	3,920人	未達成	94.6	集団教育及び職員の質の向上の観点から適正規模の公立幼稚園と認定こども園で推進していく。
アプローチカリキュラムの作成・活用 保・幼・認定こども園・小連携のための接続期を意識したカリキュラムの作成		「津山市における保幼小接続カリキュラム」の作成	作成・各園（所）で活用（100.0%実施）	達成	達成	「津山市における保幼小接続カリキュラム」をもとに、教育委員会と連携を取り合いながら連携・接続の充実を図っていく。

1 個の確立とつなぐ力を育む【学校教育】

(2)義務教育の充実

【施策の概要】

ア 確かな学力の向上	担当課	学校教育課 教育総務課
<p>津山で育つ子どもたちに、基礎的な学力を確実に定着させ、活用力の向上を図るため、児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことのできる学習環境を整えるよう努めた。</p> <p>教員の指導力向上を図り、わかる授業の実現に向けて、保幼小連携や小中連携による学習規律の定着に向けた取組を推進するとともに、外部講師を招聘する等、校内研究の活性に努めた。また、児童生徒の主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善やICT（情報通信技術）機器を効果的に活用した指導法の実践的研究に取り組んだ。</p> <p>家庭と連携して、家庭での生活習慣や学習習慣の改善を図り、家庭学習の充実に向けた取組を進めた。</p>		

【主な取組の評価】

学力の実態把握	担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>国、県が実施する学力調査結果をもとに、小中学生の学力の定着状況を把握し改善プランの作成と取組の「見える化」と「具体化」を行った。いずれの調査結果でも、本市の平均は県平均を下回る結果となったが、調査からは各学校が苦手としている部分が明らかになった。</p> <p>「問題データベース」の活用状況を常に発信すると共に、活用の好事例の紹介も行った。</p> <p>授業と家庭学習をつなぐ取組や、補充学習や家庭学習の充実の在り方についての取組については徹底が不十分だった。</p>	
課題と今後の方向性	<p>県が行う「学力定着状況確認テスト」（小学校第4学年～中学校第2学年を対象）を実施するとともに、市独自に小学校第1学年～第3学年も全国学力調査における活用型の学力を測る問題を提供し、秋の段階での学力状況を確認することで、各学年で身につけるべき学習内容の確実な定着を図る。</p> <p>「低学年からの学力定着」「Tチャレ問題」を定期的に各校に実施を促し、達成度を測る。達成率を各校にフィードバックし、「問題データベース」を活用した基礎・基本の定着を図る。</p>	
わかる授業の推進	担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>小中学校に配置している授業改革推進チームを授業改革推進の柱としてわかる授業の推進を進めた。</p> <p>「新学習指導要領を見据えた授業」の研究校を指定し、外部講師の招聘や授業公開を通して授業改善を図った。</p> <p>児童生徒の学力の定着に向け、学習プリント作成ソフト（問題データベース）を授業や家庭学習等で積極的に活用した。小学校では「げんぼプリント」を作成し活用問題に取り組んだ。中学校では、問題データベースを使ってTチャレプリントを作成し、全中学校で取組を進めた。</p> <p>授業改革推進チームを授業改善推進の柱として、学習規律と授業改善を市内で統一して行えるよう活動した。また、津山市地区協議会や学力向上担当者会を合同で開催し、「わかる授業」づくりの研修を行い、授業の導入や展開、教師の発問等の授業改善を進めた。</p>	
課題と今後の方向性	<p>来年度は、中学校チームが2年目となり、より一層中学校の授業改善を推進するとともに、授業と家庭学習を繋げた取組を進める。</p> <p>学習プリント作成ソフト（問題データベース）のより効果的な活用を検討する。</p>	

学級編制の弾力化		担当課	学校教育課
取組結果と成果	小学校において、県費加配講師を効果的に配置し、学級編制の弾力化を行った。合わせて市費非常勤講師の配置により、少人数でのきめ細かな落ち着いた学習環境のもと指導の充実を図った。		
課題と今後の方向性	小学校3・4年生は、県の基準により県非常勤講師の配置による35人以下学級編制が可能となるが、5・6年生では県費非常勤講師の配置ができない場合がある。個別の支援が必要な状況も増えており、多人数では学級が落ち着かなくなることが予想される。市費非常勤講師を配置し、少人数指導できめ細かな指導による学力向上を目指す。		
外国語教育の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	研究校を指定し、授業研究や小中で連携した指導の在り方についての研究を深め、指導力の向上を図った。 ALTを7名派遣し、小学校中学年からの系統的な指導の充実や児童生徒の国際理解の充実を図った。		
課題と今後の方向性	引き続き小学校英語（外国語）の授業の充実を図るため、小学校3・4年生は年間35時間の外国語活動、小学校5・6年生は年70時間の英語を実施する。 小学校英語教科支援員や小学校英語専科教員を配置し、教員によるわかりやすく楽しい英語授業を展開することで児童が英語に親しむことができるようにする。 小中学校の外国語指導力向上を目指し、研修会参加や授業公開、授業参観を積極的に行う。		
学校ICT環境の整備		担当課	学校教育課 教育総務課
取組結果と成果	平成29年度から順次導入しているICT機器は、平成30年度に校舎改修中の小学校4校を除く小学校20校、中学校6校へ指導用タブレット、デジタル教科書、壁掛け固定式プロジェクター等の機器を整備した。 ICT機器を効果的に活用することで、視覚効果の高いわかる授業展開が行い易くなった。		
課題と今後の方向性	平成31年度は、残る小学校4校に教師用タブレットやプロジェクターを整備し、児童にわかりやすい授業展開を行う。 授業公開に積極的にICT機器を活用する。 令和2年度から実施されるプログラミング教育について、理科などで用いられるプログラミング用のICT機器を整備する必要がある。		
子どもと向き合う時間の確保		担当課	学校教育課
取組結果と成果	県が配置している業務アシスタントや校務支援員等を配置するとともに、校務支援システムを全校に導入し、ICT化による校務の効率化に向けた取組を推進した。業務アシスタント配置による教員の業務改善も行った。		
課題と今後の方向性	業務の見直しや人員の配置を検討するとともに、校務支援システムの効果的な活用のための研修や情報提供を行う。市内の有効な具体的取組の共有を積極的に行い、子どもと向き合う時間の確保に努める。		

家庭学習の推進と生活リズムの定着		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>小・中学校ともに、家庭学習の手引きの配布を行った。さらに、チャレンジハッピーデーを年2回行い、家族と触れ合う時間を創り出すための啓発活動を進めた。</p> <p>市内の全ての学校において、家庭学習時間及びテレビ等の視聴時間の調査を行い実態把握を行った。特に小学校第5学年と中学校第2学年については、11月と2月の年3回行い、その調査を基に家庭学習の習慣化に向けた取組を進めた。</p> <p>「小中連携事業」の柱の一つとも関連させ、中学校ブロックでの家庭学習の習慣化の取組を進めた。</p> <p>新たな津山市の目標値「家庭学習」、「メディアコントロール」について周知を図るため、児童生徒だけでなく、家庭用チラシも作成した。</p> <p>家庭学習や自主学習で取組んだノートの紹介を教室や校内での好事例の見える化を進めた。</p> <p>中学校では宿題ボード等を用いた宿題の見える化を進め、帰りの会等で一人ひとりの児童生徒への声かけや指導等に活かす取組を進めたが、全校での取組にはならなかった。</p>		
課題と今後の方向性	<p>小中学校ともに、家庭学習の手引きの配布を行うことで意識付けを行うことは大切である。さらに、年度の初めの各校の総会などで、津山市の目標値のチラシを配付し家庭学習とメディアに関する取組の推進を図っていく。</p> <p>「スマホの実態調査」からスマホの活用や使用時間に課題があるため、チャレンジハッピーデーを年2回行い、家族と触れ合う時間を創り出すための啓発活動を進めていく。</p> <p>確かな学力の定着に向け、津山市の重点課題として「学びのサイクルの確立」(授業 家庭学習 確認テスト 補充)を徹底して行う。</p> <p>学力向上担当者会やプロジェクト会議等でも家庭学習やメディアについて話題にし、各校の情報交換を積極的に行う。</p> <p>引き続き、市内の全ての学校において、家庭学習時間及びテレビ等の視聴時間の調査による実態把握を行い、その結果を基に、家庭学習の習慣化に向けた取組を進める必要がある。</p> <p>「小中連携事業」とも関連させ、中学校ブロックでの家庭学習の習慣化とメディアコントロールの取組を進めていきたい。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
全国学力・学習状況調査 小6国語平均正答率【基礎】	70.2%	67.5%	全国平均値を上回る 〔全国平均〕 70.7%	未達成	95.5	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
小6算数平均正答率【基礎】	74.4%	60.1%	〔全国平均〕 63.5%	未達成	94.6	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
小6国語平均正答率【活用】	61.1%	50.5%	〔全国平均〕 54.7%	未達成	92.3	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
小6算数平均正答率【活用】	40.7%	45.3%	〔全国平均〕 51.5%	42.6	88.0	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
全国学力・学習状況調査 中3国語平均正答率【基礎】	74.7%	73.8%	全国平均値を上回る 〔全国平均〕 76.1%	未達成	97.0	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
中3数学平均正答率【基礎】	60.4%	61.3%	〔全国平均〕 66.1%	18.8	92.7	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
中3国語平均正答率【活用】	63.6%	54.8%	〔全国平均〕 61.2%	未達成	89.5	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。
中3数学平均正答率【活用】	35.8%	40.1%	〔全国平均〕 46.9%	63.2	85.5	引き続き、平均以上の力をつけることを目指す。

全国学力・学習状況調査 家で、自分で計画を立てて勉強をする【小6】	26.0%	62.5%	全国平均値を上回る 〔全国平均〕 H30: 67.6%	87.7	92.5	PTAとも連携し、家庭学習が充実できるような取組をする。
家で、自分で計画を立てて勉強をする【中3】	21.4%	48.7%	〔全国平均〕 H30: 52.1%	88.9	93.5	PTAとも連携し、家庭学習が充実できるような取組をする。
学校ICT環境整備事業 ICT機器による効果的な授業の実施と学習環境の整備		31校で実施	小中学校35校での効果的な授業の実施	88.6	88.6	ICT機器について、平成31年度中に4校に導入し、全小中学校において授業を実施する。

【施策の概要】

イ 豊かな心の育成	担当課	学校教育課 教育総務課
<p>全国調査では、本市の小中学校暴力行為等の問題行動については改善傾向にある。しかし、いじめの解決に時間がかかる事例の増加や、不登校者数の増加が見られるなど、対応に苦慮する状況もある。</p> <p>これらの問題行動の解消をより進めるため、関係機関との連携や専門家の支援等による組織的な指導体制の充実を図り、児童生徒の規範意識の向上や望ましい人間関係づくりを推進する。</p> <p>地域人材を活用した教育活動や地域の自然、歴史、文化などの学習を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、ふるさとを理解し愛する人材の育成に努める。</p> <p>また、特別の教科道徳や情報モラル教育の充実を通して、児童生徒が人としてのあり方や生き方について学び、多様な価値観を認識しながら自ら考え、判断し、人生をより良く生きるための資質や能力の育成を図る。</p> <p>そして、児童生徒の豊かな言語力と感性を育成するため、読書習慣の確立と読書に親しむ環境づくりに努める。</p>		

【主な取組の評価】

生徒指導の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>「より良い学校生活を送るためのアンケート」を活用した学級集団の見立てを行い、落ち着いた学級集団づくりを進めた。</p> <p>規範意識向上モデル校を指定して、学校警察連絡室等の関係機関と連携を図るとともに、防犯教室等を実施し児童生徒の規範意識の向上を図る取組を進めた。</p> <p>学校の組織的な指導力の充実を図り、「津山市いじめ問題基本方針」に基づき、いじめの積極的な認知と未然防止の取組を進めた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>津山市の学校は概ね落ち着いてきているが、中学校の暴力行為には留意する必要がある。</p> <p>規範意識向上モデル学区における「落ち着いた学習環境づくり」に向けた取組の推進を行い、低年齢からルールやモラルを守るうとする意識を高める。</p> <p>学校警察連絡室と連携し、規範意識の向上を図る取組を進める。生徒会活動を通じた生徒の自発的な活動から規範意識向上を啓発する。</p> <p>改定した「津山市いじめ問題基本方針」に基づき、いじめの未然防止と適切な対応に努める。</p>		
不登校への対応と対策		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>長期欠席者や不登校傾向にある児童生徒に対して、学校に心理や福祉の専門家を教育支援アドバイザーとして派遣し、児童生徒、保護者への適切な指導、対応に向けてのケース会議、コンサルテーションを行った。</p> <p>不登校等の長期欠席の出現率の改善に向けて、「不登校支援アセスメントシート」を活用し、実態把握に基づいた適切な支援の実施を進めた。</p> <p>課題のある小学校へ登校支援員を配置し、学校が組織的に対応して、新たな不登校を生まない取組を行った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>長期欠席者や不登校傾向にある生徒が小中学校ともに増加傾向にある。</p> <p>長期欠席・不登校の児童生徒数は増加しており、「岡山型 長期欠席・不登校対策スタンダード」を活用し、児童生徒が現在どのような状態にあるかを評価し、状態を好転させていく。</p> <p>小学校においては、登校支援員を14校に配置し、小学校段階から長期欠席傾向に陥らない、きめ細かい指導を行う。</p>		
道徳教育の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>特別な教科「道徳」の充実に向け、授業公開を行う等、研究の充実を図りその成果を普及啓発する取組を進めた。</p> <p>津山市学校教育研究センターの道徳部会に岡山県の指導主事の派遣を依頼し、特別な教科「道徳」の評価について研修を行うなど今後授業研究が推進されるよう教員の指導力の向上を図った。</p>		

課題と今後の方向性	市研究校を小学校1校、中学校1校指定し、公開授業や研究協議を通し教科化に向けた指導力向上を育成する。 中学校の道徳が教科化になったことを受け、指導力の育成が喫緊の課題であることを踏まえ、道徳教育推進教師を中心に授業のポイントや授業づくりを研修し、教員の指導力を高めていく。		
ふるさと学習の推進		担当課	学校教育課
取組結果と成果	あいさつ運動や学校の教育活動への地域人材の活用を通して、地域の人と関わる活動を推進した。 地域人材の活用や津山洋学資料館、津山郷土博物館等の教育施設への訪問を通して郷土学習・自然体験等の充実を図り、ふるさとを愛する心を培った。 ふるさと学習の充実に向け、指導資料等を活用したふるさと学習の推進を図った。		
課題と今後の方向性	郷土を理解し郷土を愛する人材を育成するためにも、地域、地元企業との連携をさらに促進し、連携した活動をより充実させる。 授業においてふるさと学習資料を活用するとともに、津山洋学資料館等の教育施設等の訪問を続け、ふるさと津山を愛する心情をさらに高める。 各校の取組について、Webページ等で紹介し広めていく。		
キャリア教育の推進		担当課	学校教育課
取組結果と成果	家庭・地域・企業と連携して、人のかかわりや中学校2年生が実施している職場体験等を通して、児童生徒の社会的・職業的な自立に向けた取組を推進した。		
課題と今後の方向性	職場体験をただの体験に終わることなく職業・就業に対する意識の向上に努める。一般の方、異年齢の方とのふれあいを通じ社会性を育む。受け入れ企業を充実するため、新規企業の開拓に努める。 中学生が津山市内の企業を回り見学や体験を通して企業の良さに触れる場を設定することで、ふるさと津山を愛する人材の育成を図る。		
情報モラル教育の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	児童生徒や保護者に、携帯電話やスマートフォン、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等の危険性と適切な使用（ルールづくり）について指導や啓発（ノーマディア週間の取り組み等）を行った。 スマートフォン等の適切な利用に向けた児童会や生徒会の主体的な活動を推進し、児童生徒の情報モラルを育成するために、児童生徒交流会を開催した。		
課題と今後の方向性	本市の小中学生はスマホの所持率が高く、家庭での使用時間も長いという課題がある。そこで、家庭でのルール作りの啓発と共にチャレンジハッピーデー等ノーマディア週間の取組を行う。 小学校段階からスマホについて考える必要があるため、児童会や生徒会でインターネットやSNSとのつきあい方や危険性を考える自主的な取組を推進していく。		
読書習慣の確立と読書環境の整備		担当課	学校教育課 教育総務課
取組結果と成果	朝読書や地域ボランティアによる読み聞かせ等を実施し、児童生徒の多様な読書活動を推進した。 司書教諭を中心に学校司書、図書整理員と連携し学校図書教育の充実を図った。学校図書館を活用した授業や調べ学習等の取組充実に取り組んだ。		
課題と今後の方向性	低年齢から読書に親しむ時間を増加させるため、学校支援ボランティアによる読み聞かせを推進し、各校において朝読書時間、読書週間や月間を設定し本に親しむ取組や学級文庫を設置するなど読書活動を推進する工夫を行う。 図書室を利用した授業や調べ学習等の取組の充実を図る。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
全国学力・学習状況調査 「学校の決まりを守る」児童生徒の割合【小6】	33.4%	34.1%	岡山県平均値を上回る 〔県平均〕 H30: 48.4%	4.7	70.5	学級指導や児童の自治活動を積極的に取組み、規範意識の向上を図る。
「学校の決まりを守る」児童生徒の割合【中3】	55.8%	61.8%	〔県平均〕 H30: 65.4%	62.5	94.5	生徒会活動などの自治的な活動を積極的に取組み、規範意識の向上を図る。
児童生徒の問題行動党生徒指導上の諸問題に関する調査 暴力行為の認知件数【1,000人当たりの発生件数：小学校】	0.8件	0.2件	岡山県平均値より改善する 〔県平均〕 4.9件	達成	達成	問題行動の低年齢化を意識し、早期対応に努める。
暴力行為の認知件数【1,000人当たりの発生件数：中学校】	15.1件	8.8件	〔県平均〕 10.2件	達成	達成	学校警察連絡室など関係機関と連携を強化し、生徒の規範意識向上をすすめる。
いじめの認知件数【1,000人当たりの発生件数：小学校】	4.4件	10.9件	〔県平均〕 15.9件	達成	達成	早期発見早期対応を徹底し、積極的に関わる。
いじめの認知件数【1,000人当たりの発生件数：中学校】	7.2件	9.1件	〔県平均〕 16.2件	達成	達成	早期発見早期対応を徹底し、積極的に関わる。
不登校出現率【100人当たりの発生件数：小学校】	0.2%	0.38%	〔県平均〕 0.57%	達成	達成	不登校解消のため組織対応を徹底し、積極的に関わる。
不登校出現率【100人当たりの発生件数：中学校】	1.8%	2.74%	〔県平均〕 2.70%	未達成	未達成	不登校解消のため組織対応を徹底し、積極的に関わる。

【施策の概要】

ウ 健やかな体の育成	担当課	学校教育課 保健給食課
<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、本市の児童生徒の体力や運動能力は、多くの項目で全国平均を上回っている。しかし、小学校においては、全体的には下がり気味になってきている。このような結果をふまえ、体育の授業の中での運動量を増やしたり友だちと協力する場の設定をし、運動することの喜びや楽しさを味わうことのできる学校体育の充実に努めた。</p> <p>健康教育や食育の推進を通して、児童生徒の望ましい生活習慣の確立と心身の健康増進を図った。食生活においては、教育活動全体を通して、児童生徒が栄養バランスや食の安全性などについて正しく理解する力が身に付くよう食育を推進した。また、地場産物を活用し、食物を大切に生産者等への感謝の気持ちの醸成に努めるとともに、行事食や伝統食を通じて地域の文化に対する関心を高めた。</p>		

【主な取組の評価】

学校体育の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>県教委が示す「みんなでチャレンジランキング」への参加校の増加や美作大学と連携したリズムジャンプの取組の拡充が進み、運動に親しむ環境づくりが進んだ。</p> <p>小学校5年生、中学校2年生を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、状況把握により各校で課題を見つけ指導の改善を図った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>「みんなでチャレンジランキング」への積極的な参加を呼びかけ、運動遊びを通して体力の向上を図る。</p> <p>昨年度のリズムジャンプの取組をさらにボトムアップし、全ての市内小学校で運動に親しむ環境づくりを進める。</p>		
基本的な生活習慣の改善		担当課	学校教育課 保健給食課
取組結果と成果	<p>子どもたちの生活がテレビやゲームなどに縛られず、家庭での有意義な時間を創り出す働きかけとしての「チャレンジ・ハッピーデー」の取組を推進した。</p> <p>小学校5年生、中学生2年生を対象に「食生活に関するアンケート」を実施した（朝食摂取率は、小中学生とも昨年度より低下）。調査結果をもとに指導及び様々な機会（給食だより、給食試食会、朝食づくり講座等）で啓発活動を実施した。</p> <p>夏休み親子料理教室（24家族66名が参加）を開催し、「津山の小麦で手作りうどん！～暑い夏でもバランスよく食べよう～」をテーマに調理実習・講話を実施した。</p> <p>夏休みレッツチャレンジクッキングでは、小学校5年生～中学生を対象に「カルシウムたっぷり骨コツ食材でおいしく楽しくつくってみよう」をテーマにレシピを募集し、2,051名の応募があった。</p>		
課題と今後の方向性	<p>引き続き、児童生徒の家庭での生活が充実するよう、家庭での生活を意識させる取組をすすめる。</p> <p>基本的な生活習慣・食習慣の改善のため今後も継続した取組を実施する。</p> <p>朝食摂取状況の改善を図るには、生活リズムの見直しが必要であるため、学校、家庭、地域、庁内関係部署、関係機関・団体等と連携していく必要がある。</p>		
教育活動全体を通じた食育の推進		担当課	保健給食課
取組結果と成果	<p>「食育年間計画」に基づき、栄養教諭や食育担当教員を中心に食育の充実に努めた。栄養教諭等は計画的に学校に出向き、給食時間等を中心に食の指導を行った。</p> <p>学校に食育に関する情報提供を行うとともに、保護者に対して「給食だより」の配布等の啓発活動を行った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>引き続き、食に関する指導や、「給食だより」等を通じて、学校、地域や関係機関と連携しながら、食育をさらに推進する。</p>		

魅力ある献立づくりと食文化の継承		担当課	保健給食課
取組結果と成果	<p>学校給食に地場産物、旬の食材、行事食、伝統食等を取り入れて充実した献立作りを行ない、児童生徒の地域の文化に対する関心を高めた。</p> <p>家庭配布の献立表と給食食材の産地を市ホームページに掲載した。</p> <p>「給食だより」「給食レシピ（家庭でも積極的に食べてもらいたい食材や伝えたい料理）」を市ホームページに掲載した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>地場産物の活用の更なる促進を図るとともに、郷土料理、行事食等を積極的に導入していくことにより、学校給食の教育的効果を更に高めていく。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体育の授業以外に、児童生徒が進んで体を動かしたり、外遊びを行ったりする場や機会を設定する学校の割合	77.0%	82.9%	100.0%	25.7	82.9	チャレンジランキングやリズムジャンプなど、体を動かすことを楽しむ取組を推進する。
基本的な生活習慣・食習慣の定着 朝食を毎日食べる子【児童】	82.0%	79.5%	93.0%	未達成	85.5	目標値に達成していないため、引き続き学校、家庭、地域と連携して啓発していく。
朝食を毎日食べる子【生徒】	76.3%	71.8%	85.0%	未達成	84.5	目標値に達成していないため、引き続き学校、家庭、地域と連携して啓発していく。
地場産物の活用 年間を通して学校給食に地場産物を使用する割合	36.4%	36.6%	40.0%	5.6	91.5	品目数の拡大を目指して、引き続きJA、生産者、庁内関係部署と連携して取り組む必要がある。

【施策の概要】

エ 特別支援教育の充実	担当課	学校教育課
<p>共生社会の形成に向け、障害の有無にかかわらず共に学ぶことができるよう配慮しながら、一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導の充実と、関係機関と連携した教育を推進します。</p> <p>本市の特別支援教育の中核施設である「津山市特別支援教育推進センター」の機能を強化するとともに、早期からの教育相談や就学後の継続的な指導・支援体制の充実を図ります。</p>		

【主な取組の評価】

特別支援教育推進センターの機能の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>就学前からの教育相談や特別な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ると共に、通級指導教室、巡回相談や教職員研修、指導資料の提供等の取組を進めた。通級指導の充実を図るために、市内小中学校に出向くサテライト指導を実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>教職員研修を充実させ、教員の指導力向上を目指す。</p> <p>通級指導に在籍する学習及び生活の教育的ニーズを必要とする子どもたちの支援の充実を図る。</p>		
個別の教育支援計画の策定と指導の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>特別支援コーディネーター研修を年3回開催し、特別支援学級に在籍する児童生徒の状況や教育的ニーズを継続的に把握して、個別の教育支援計画の作成等に関する研修を実施し、各校への指導・支援につなげた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>平成30年度から実施している特別支援教育に関わる研修により、校内支援体制を構築し指導の充実を図る。また、通常学級に在籍する教育上特別に支援を要する児童生徒の個別の教育支援計画の作成から活用につなげていくことで指導と支援を充実させる。</p>		
特別支援学級サポートの充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>多人数の特別支援学級に非常勤講師等を配置し、きめ細かな指導の充実を図ったことで落ち着いた学習環境を整えることができた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>引き続き、きめ細かな指導の充実のため非常勤講師の配置を継続し、個に応じたきめ細かな指導を行ったり推進センターの巡回相談を活用したりしていく。</p>		
関係機関との連携等による就学指導・支援体制の充実		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>津山市発達障害等支援関係者連絡協議会を開催し、関係機関と情報を共有し、指導の充実を図った。</p> <p>保幼小連携によるスムーズな就学が行われるように説明会を開催し、連携に努めた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>保幼小中までの更なる連携が進むように関係機関と情報を共有し、一貫した支援の充実を図る。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
通常学級における特別な支援が必要な児童・生徒の教育支援計画の作成 個別の教育支援計画の作成率【小学校】	62.6%	100.0%	100.0%	100.0	100.0	対象となる児童が毎年度変化していくため、引き続き適切な支援が行えるよう取組を継続する。
個別の教育支援計画の作成率【中学校】	56.4%	100.0%	100.0%	100.0	100.0	対象となる生徒が毎年度変化していくため、引き続き適切な支援が行えるよう取組を継続する。

【施策の概要】

オ 開かれた学校づくり	担当課	学校教育課 生涯学習課
<p>地域学校協働本部の充実や適切な学校関係者評価を行い、地域の特色や実情を踏まえ地域と共にある学校づくりを推進する。</p> <p>さらに、保護者や地域住民などが、学校や地域で学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど「学校支援ボランティア活動」を充実し、広く地域で子どもたちに関わり支援する「地域学校協働活動」につなげる。</p>		

【主な取組の評価】

地域に開かれた学校運営		担当課	学校教育課
取組結果と成果	<p>各校で開催する学校評議員会では、保護者や地域住民等の支援を得つつ開かれた学校運営を進めた。</p> <p>学校評価の項目内容のうち、津山市の教育課題、重点取組等に係る項目について、学校共通の評価項目として位置づけ、学校と保護者・地域がお互いに理解を深めるとともに、学校が説明責任を果たすため、学校評価の結果を公表した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校評議員会を確実に実施し、さらに、保護者や地域住民等の支援による学校運営を目指す。</p> <p>学校評価の結果を、引き続きホームページや学校だよりで公表する。</p>		
地域教育力を活用した教育活動と開かれた学校づくりの推進		担当課	学校教育課 生涯学習課
取組結果と成果	<p>小中学校の地域連携担当者を中心とし、教科指導や特別活動など多様な学習機会やふれあい活動などを通して、地域の教育力を活かした教育活動を進めた。</p> <p>地域学校協働活動を通して、地域コーディネーターが学校支援ボランティアなどの地域の人々を学校や公民館などに配置し、広く地域をあげて子どもたちを支援する体制づくりを進めた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>地域学校協働活動で活躍する地域コーディネーターなど地域人材を教育活動にうまく取り入れ、子どもたちを支援する仕組みを充実させる人材の育成が更に必要である。</p>		
学校支援ボランティア活動の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>地域の多くの人に学校支援ボランティアとして、子どもたちの学習支援や登下校時の見守り活動などに関わっていただくことができた。登録者数約3,000人。</p> <p>ボランティア活動は、全ての小中学校で行われ、また、土・日曜日、夏休み期間中などに公民館等を会場として広く行われた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校と地域が一体となって子どもたちを支援するために、学校支援ボランティアの登録者数を増やしていく必要がある。</p> <p>学校支援ボランティアの配置や学校との連絡調整などの役割を担う地域コーディネーターの人材確保に努める。</p>		

(3)教育環境の充実**【施策の概要】**

ア 安全・安心の学校づくり	担当課	学校施設課 保健給食課
<p>子どもたちが安全・安心な空間で学び生活することができるよう、老朽化した施設の大規模改修・空調施設整備工事を実施した。既存施設・設備の点検を行い、不具合箇所は速やかな改修を行うとともに、セキュリティ体制の強化を進め、よりよい教育環境の整備を図った。</p> <p>学校における衛生面での安全・安心を確保するため、国の学校環境衛生基準に基づき、計画的に衛生検査を実施した。</p>		

【主な取組の評価】

小中学校施設整備事業		担当課	学校施設課
取組結果と成果	<p>津山市学校施設更新整備方針に基づき、老朽化した施設の大規模改修を実施した。平成30年度に着工及び完了した改修工事は、誠道小学校の校舎、一宮小学校、高田小学校、河辺小学校、勝加茂小学校、中道中学校の屋体、久米中学校の武道場、北小学校、鶴山小学校、弥生小学校、向陽小学校、成名小学校、喬松小学校、誠道小学校のプールである。</p> <p>平成30年度に着工し、令和元年に完了予定の改修工事は、大崎小学校、新野小学校、勝加茂小学校の校舎である。</p> <p>平成28年度から着手した空調施設整備は、平成30年度までに全小中学校の普通教室及び特別支援学級の教室で工事を完了した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>津山市学校施設更新整備方針に基づき、施設の劣化状況等に応じて計画的年次的な施設整備を行う。</p> <p>空調設備の導入、洋式トイレの普及など、児童生徒を取り巻く生活環境や学校施設に求められる水準が向上していることから、逐次、改修の優先度の見極めを行う。</p>		
安全安心対策事業		担当課	学校施設課
取組結果と成果	<p>不審者の侵入防止対策として、広野小学校及び成名小学校へのフェンス及び門扉の設置、成名小学校への防犯カメラ設置を実施し、学校のセキュリティ体制を強化した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>防犯カメラの整備が一巡した後は、設備の劣化状況に応じ、順次更新を行う。</p> <p>困障や防犯カメラの整備が未整備な学校において、順次計画的に整備を行い、学校のセキュリティ体制を強化していく。</p>		
学校の環境衛生対策		担当課	保健給食課
取組結果と成果	<p>学校の飲料水やプール水の水質検査、保健室寝具のダニアレルゲン検査を小中学校で実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校の環境衛生の向上を通じて、児童生徒の安全を確保するため、今後も検査を継続して実施する。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
小中学校施設整備事業		36棟	51棟	64.7	64.7	津山市学校施設更新整備方針に基づき、計画的年次的な施設整備を行う。
安全安心対策事業 小中学校の防犯カメラの設置率	68.6%	94.3%	100.0%	81.8	94.3	困障や防犯カメラを未整備の小中学校から順次計画的に整備し、学校のセキュリティ体制を強化していく。

【施策の概要】

イ 安全・安心に配慮した学校給食の充実	担当課	保健給食課
<p>平成26年8月に市内の全小中学校でセンター方式による学校給食を開始しており、今年度も安全安心な学校給食の提供に取り組んだ。</p> <p>衛生面では、食中毒等の防止のため、「学校給食衛生管理基準（文部科学省）」に基づき衛生管理の徹底を図った。</p> <p>安全面では、食材の厳選、異物混入の防止、また、確実なアレルギー対応を行った。</p>		

【主な取組の評価】

衛生管理の徹底		担当課	保健給食課
取組結果と成果	<p>「学校給食衛生管理基準（文部科学省）」等に基づいた衛生管理の徹底を行った。</p> <p>食材の定期検査を行った（一般生菌、大腸菌群、黄色ブドウ球菌、油脂の酸化等）。</p> <p>衛生管理研究会を実施した（衛生管理研究、ふき取り検査等）。</p>		
課題と今後の方向性	衛生管理の徹底と更なる向上に努める。		
安全性の確保		担当課	保健給食課
取組結果と成果	<p>食品添加物の少ない食材や地場産品等、より安全性の高い食材の確保に努めた。</p> <p>平成29年度に作成した「異物混入対応マニュアル」に沿った異物混入の未然防止と発見時の適切な対応を行なった。</p> <p>食物アレルギー対応は、国監修のガイドラインや国の指針に基づいて本市が作成した手引き等に基づき、適切にアレルギー対応を行なった。</p>		
課題と今後の方向性	引き続き、安全性の向上を目指す。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
事業指標（内容）				目標に対する 達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
異物混入防止による安全安心な学校給食の提供 異物混入対応マニュアル（仮称）の策定及びそれに則った対応	100.0%実施			100.0	100.0	引き続き、マニュアルに則った異物混入防止と適切な事後対応を行っていく。

【施策の概要】

ウ 良好な教育環境の維持・向上	担当課	教育総務課
<p>小中学校の適正規模・適正配置について、「津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本計画」に基づき検討を行っていくこととしており、将来推計の結果に基づき、部内で協議を行った。</p> <p>教育委員会の活動について、市ホームページや広報紙により市民への情報発信を行った。また、公共施設のあり方を考えるファシリティ・マネジメント委員会から学校プールの統廃合や運営見直しを行うよう答申があったことを踏まえ、対応策の検討を行った。</p>		

【主な取組の評価】

小中学校の適正規模・適正配置		担当課	教育総務課
取組結果と成果	<p>小中学校の適正規模・適正配置については、「津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本計画」にもとづき検討を行っていくこととしている。</p> <p>平成30年度は、学校教育部内担当課で組織する検討会議において、児童生徒数の将来推計を行い、今後複式学級となる学校が発生する可能性があることが確認された。</p>		
課題と今後の方向性	<p>引き続き、児童生徒数の将来推計を慎重に調査、確認し、必要に応じて審議会等の設置を検討していく。</p> <p>改善に向けた対応が必要となった場合には、児童生徒にとってより良い教育環境を第一に考え、保護者、学校、地域と連携し検討を進めて行く。</p>		
教育委員会活動の活性化		担当課	教育総務課
取組結果と成果	<p>外部評価者を活用して前年度の教育の事務に関する点検を実施し、「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」の作成、公表を行った。</p> <p>教育委員会の活性化に向けて、「つやま市教委かわら版」の作成、「広報つやま」、ホームページを活用した教育委員会の施策や教育活動の周知に努め、広く市民に情報発信を行った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>外部評価者から、報告書中の評価値について判断基準が明確でないなどの意見があったため、次年度の点検評価においては、改善を実施することとした。併せて、報告書の様式について見直しを行う。</p> <p>教育委員会が実施する施策等について、ホームページや広報紙などによる積極的な情報発信を行い、より開かれた教育委員会を目指していく。</p>		
学校プール授業のあり方		担当課	教育総務課 学校施設課 学校教育課
取組結果と成果	<p>ファシリティ・マネジメント（FM）委員会からの答申を受け、各担当課、校長会との会議を開催し、答申内容の確認と次年度において、民間施設等を利用したプール授業の試行を行い民間委託の可能性を検討することとした。</p>		
課題と今後の方向性	<p>早急に委託業者や学校との具体的な協議、調整を進める必要がある。実施後はメリット・デメリット等具体的な実施可能性の検証を行い、方向性を決定する。</p>		

2 身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】

(1) 青少年の健全育成の推進

【施策の概要】

ア 青少年健全育成の総合的な推進	担当課	生涯学習課
<p>心豊かにたくましく未来を拓いていく青少年を育成するため、学校、家庭、地域及び津山少年サポートセンター等との連携を図り、街頭指導を実施した。</p> <p>また、津山市子ども会連合会等の青少年健全育成団体への支援を通じて、子どもたちの自主性や創造性を育てる活動を進めた。</p>		

【主な取組の評価】

健全育成のための連携強化		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>青少年育成センターによる声かけや見守り活動を年間442回実施、学校や関係機関等と連携して情報交換会や合同街頭指導、サマーナイトパトロールを行った。</p> <p>津山っ子を守り育てる市民の会との協働により、「街づくり人づくりクリーン作戦アピール集会」や「津山っ子こころのふれあいトーク」などを実施した。</p> <p>小中学校を訪問し、あいさつ運動や校内巡回活動を実施することにより、健全育成を推進した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>今後も、学校、関係機関等と連携した街頭指導や学校訪問活動などを通じて、青少年の健全育成に努める。</p>		
青少年健全育成事業の推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>津山市子ども会連合会や津山市少年少女発明クラブ等との連携により、野外活動や工作などの体験活動を推進し、子どもの自主性・創造性を培った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>津山市子ども会連合会等との連携を進め、体験活動やさまざまな世代の人との交流を通じて、リーダー養成や人材育成に努める。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
街頭指導活動の充実 青少年育成センターによる巡回指導の回数	457回	442回	480回	未達成	92.1	引き続き青少年の健全育成のため、巡回指導を行う。

【施策の概要】

イ 相談、支援体制の整備と社会参加の促進	担当課	生涯学習課
<p>多様化・深刻化する不登校やニート、ひきこもりなどの相談に対応するため、鶴山塾や青少年育成センターにおいて相談や助言、支援活動に取り組んだ。</p> <p>また、教育、医療、福祉などの関係機関と連携を進め、子どもたちが社会で自立して活躍できるよう、切れ目のない支援体制づくりや奨学金の貸し付けによる経済的支援を進めた。</p>		

【主な取組の評価】

相談・支援体制の整備と充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>多様化・深刻化する相談内容に対応するため鶴山塾に配置された臨床心理士の助言を得ながら、相談員が支援を行うことにより、安定した通塾や通塾生における学校復帰率の向上につながった。</p> <p>通塾生の中学校卒業時での進路支援を行うことにより、進学率96%につながった。</p>		
課題と今後の方向性	<p>支援の届いていない子どもに対して、教育、医療、福祉等の関係機関と連携をとり、アウトリーチ型支援(訪問支援)を行ったり、その家庭に必要な関係機関とつなげる。</p> <p>義務教育修了後、所属のない青少年に対して進路支援を進める。</p>		
社会参加の促進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>不登校やニート・ひきこもり等の課題を抱えた青少年を継続的に支援するため、関係部署や関係機関等と連携を進め、切れ目のないネットワーク体制づくりを行った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>青少年の社会的自立に向けて、関係機関とのネットワーク体制を構築し、関係部署・関係機関との情報交換や支援を進める。</p>		
啓発活動の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>市民を対象とした講演会や、教育関係者のニーズに対応した研修会を開催し、子ども理解について学び合うことができた。</p> <p>「鶴山塾教育相談だより」を作成し、小中学校・幼稚園等に配布することで、意識の啓発を図った。</p> <p>広報紙への青少年健全育成記事掲載や、ホームページ等で教育相談活動を紹介する等、啓発を図った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校や関係機関等において、鶴山塾や青少年育センターの事業について説明会を行い、啓発を図る。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
アウトリーチ型支援(訪問支援)の充実 支援の届いていない子どもや家庭への訪問支援件数	5ケース	5ケース	8ケース	未達成	62.5	引き続き関係機関と連携して訪問支援の充実を図る

(2) 家庭・地域の教育力の向上**【施策の概要】**

ア 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	担当課	生涯学習課 図書館
<p>(生涯学習課) 地域学校協働本部事業や放課後子どもプラン推進事業、つやまっ子読書プラン推進事業を充実させ、学校、家庭、地域の連携・協働を積極的に進めることにより、地域ぐるみで子どもたちを支援する取組を推進した。</p> <p>(図書館) 津山市立図書館開館40周年事業として記念講演会や図書館総合展2018地域フォーラムin津山を開催し、美作大学や津山高専、市内の6高校との三館連携や津山中央病院医療情報プラザ、津山まちなかカレッジとの連携を深め、ボランティアと協働して読書活動や地域課題解決に向けた取組を行い、学びの環境整備を行った。また、デジタルアーカイブ構築の取組を進めた。</p>		

【主な取組の評価】

地域の教育力の向上		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>学校支援ボランティアは登録者が3,000人、登下校時の見守りや学習支援、本の読み聞かせなどで広く子どもたちの支援をした。 放課後や週末などに地域の協力を得て行う「放課後子ども教室」や公民館講座などで、ボランティアの方々に幅広く体験活動やスポーツ・文化活動、学習活動をする中で子どもたちに地域への愛着などを深めさせることができた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校支援ボランティアの制度を活用して、地域全体で子どもを支える環境を整備することにより、地域の一体感を醸成する。</p>		
地域の協働による支援体制の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>地域住民、高校、大学、NPO法人などの協力を得て、地域学校協働本部事業を実施し、全ての小中学校で、学校内外の見守り活動や授業の補助支援を行い、公民館でも夏休みの学習支援を進めることができた。 放課後子ども教室は20教室で、地域の子どもの居場所づくりや体験活動などを実施した。 学校支援ボランティアの配置や学校との連絡調整の役割を担う地域コーディネーターの資質向上を目的として、交流会や研修会を開催した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>公民館などを会場として子どもの学習支援などの場を広げることにより、地域をあげて子どもたちを支援する「地域学校協働活動」の体制づくりを進める。 地域コーディネーターの新たな人材確保に努める。</p>		
市立図書館の機能充実		担当課	図書館
取組結果と成果	<p>図書館サポーター制度創設をめざし、ボランティアとの協働を進めている。 40周年記念事業にはのべ636人の参加があり、図書館総合展2018地域フォーラムin津山では津山市民に向けて図書館の利活用を促進する発信を行い、また全国に向けて津山市の発信ができた。 美作大学、津山高専との相互利用について、利用手順の見直しを行い利便性向上を図った。 情報発信拠点として写真共用サイト「flickr」に津山市立図書館公式サイトを開設した。 調べる学習コンクールの応募件数は44件だった。</p>		

課題と今後の方向性	<p>サポーター制度創設は、今後、各団体や個人との連携を密にし自ら活動する環境を整えたい。</p> <p>課題解決支援や各種団体との連携は、今後も継続するほか、調べる学習コンクールについては、小中学校及び学校図書館と連携・協働することで、より多くの応募を目指す。</p> <p>デジタルアーカイブ「flickr」津山市立図書館公式サイトは津山市の写真・画像のオープンデータサイトとして発展させる。</p> <p>学びの環境整備として、団体貸出と地域でのサテライト貸出を推進する。</p>		
読書活動の推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>小学生や保護者に行ったアンケート結果に基づき、「第4次津山市子ども読書活動推進計画」を策定した。</p> <p>小学生を対象にした教科書音読発表会のほか、乳幼児期の子どもや保護者を対象にした読み聞かせキャラバンを5つの会場で実施し、読書習慣の定着を図った。</p> <p>読み聞かせキャラバンでは保健師に同行してもらい、子育て相談も同時に開催し、好評を得た。</p>		
課題と今後の方向性	<p>教科書音読発表会や読み聞かせキャラバンなどを、ボランティアや関係部署と連携・協働して開催し、読書習慣の定着を進める。</p> <p>令和元年度は読書計画策定記念事業として絵本リーフレットを作成。また記念講演を関係部署と連携して開催する。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
学校支援ボランティア活用事業 教育支援、環境整備、安全支援等の学校支援ボランティア登録者数	2,700人	3,000人	3,050人	85.7	98.4	引き続きボランティアの登録に努め、目標を達成する。
児童の読書習慣の定着の割合 授業以外で1日に30分以上読書をする児童〔小学校6年生〕の割合	40.4%	50.0%	44.0%	166.7	113.6	引き続き読書習慣の定着を進める。

【施策の概要】

イ 家庭教育への支援	担当課	生涯学習課
<p>家庭内の基本的な生活習慣・学習習慣の確立や規範意識、豊かな情操、自制心など、子どもに身につけさせることの必要性を保護者に理解してもらうため、学びの機会を提供し、親同士の交流を促進した。</p>		

【主な取組の評価】

情報の提供		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>子育てワークショップのファシリテーターや子育て支援センター職員とともに結成した津山市家庭教育支援チームで、協議を重ね、子育てに必要な情報を掲載した啓発資料「はぴまる」を作成し、配布した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>保健師等と連携して、多くの家庭に啓発資料「はぴまる」を配布することで、子育て情報を届け、意識の啓発を図る。</p>		
家庭教育力向上につながる学びの推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>幼稚園や小中学生等の保護者を対象に、家庭教育の重要性や子育ての悩みや不安の解消、親同士の人間関係づくり等をテーマに子育てワークショップ研修や親学講座などを年間106回開催し、家庭教育力の向上に努めた。 子育てワークショップのファシリテーターの交流会を実施し、子育ての課題について認識を深めることができた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校や関係部署との連携を図り、保護者の集まるあらゆる機会に親学講座や子育てワークショップ研修の開催を呼びかけ、学びの促進を図る。</p>		
相談体制の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>鶴山塾では相談員による相談に加え、近年増加している医療的見地が必要な相談内容に対応するため、臨床心理士等による専門相談を実施し、相談体制の充実に努めた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>多様化・深刻化する相談内容に対応するため、教育、福祉、医療等の関係機関、またスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等と連携した更なる相談体制の充実に努める。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
家庭教育親学講座・家族ふれあい教室の開催 小中学校での親学講座・幼稚園での家族ふれあい教室の参加者数	5,713人	5,828人	6,500人	14.6	89.7	家庭教育の重要性から、引き続き保護者を対象に講座を開催し、目標値を目指す。

【施策の概要】

ウ 地域資源を活用した学習の推進	担当課	生涯学習課 文化課
(生涯学習課) ふるさと津山の良さを再発見してもらうため、子どもから大人まで、さまざまな世代を対象に、津山の歴史や文化、産業などをテーマにした学習の機会を提供した。 (文化課) 生涯学習課や関係機関と連携し、地域の歴史や文化財に関する情報を市民の学習材料として提供した。また、講演会やワークショップ等を通じて郷土の歴史や人物に対する理解を深める機会を設けた。		

【主な取組の評価】

地域資源の活用と学習機会の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	地域資源を有効に活用し、企業訪問やものづくり体験などを通して、地域の魅力や良さを再発見する学習機会を提供した。 公民館主催講座56講座、「大人のまなびい教室」4回、小学生の親子を対象とした「つやま子ども未来塾」31回開催。		
課題と今後の方向性	子どもから大人までが、郷土への誇りと愛着心を持つことで、地域づくりや将来の定住などにつながる学習機会を提供する。		
関係機関との連携・協働		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	公民館や市立図書館、勝北陶芸の里工房、津山郷土博物館等の社会教育施設や、高等専門学校、地元企業等と連携・協働し、津山の歴史や文化、産業などについて学ぶ講座を開催した。 美作地方の歴史を学ぶ「美作学講座」を美作大学と連携して実施した。(津山市史研究をテーマに4回)		
課題と今後の方向性	郷土への関心や理解を深める講座の企画等を行うため、関係施設、関係機関等との連携をさらに進める。		
子どもの居場所づくりや体験活動等の推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	子ども向けの公民館主催講座やつやま子ども未来塾を開催し、ものづくり体験や地域の食材を利用した調理実習、本の読み聞かせなど、親子で一緒に学習する機会を提供し、体験活動を推進した。		
課題と今後の方向性	親子で一緒に学ぶ機会を提供し、親子のふれあいや家族の絆などを深める取組を推進する。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
公民館における地域学習の開催 公民館で開催する地域学習講座に参加した人数	1,361人	1,476人	1,500人	82.7	98.4	引き続き地域学習を積極的に進め、郷土への理解や関心、愛着などを高めます。
地域の資源を活かした学習講座の開催 地域の資源を活かした学習講座への親子などの参加者数	5,885人	6,040人	7,100人	12.8	85.1	引き続き地域の資源を活かした学習講座を開催し、親子などの参加を進めます。

3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む【生涯学習・スポーツ・文化】

(1) 生涯学習環境の整備

【施策の概要】

ア 生涯学習の推進	担当課	生涯学習課
<p>「第4次津山市生涯学習推進計画」の基本理念『「学ぶ・活かす・つなぐ・創る」～笑顔でつなぐ ひとづくり まちづくり～』に基づき、市民一人ひとりが主体的に学び続けることのできる生涯学習事業を推進した。</p>		

【主な取組の評価】

生涯学習の推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>「第4次津山市生涯学習推進計画」を積極的に推進するため、生涯学習推進本部が中心となって、各部署の生涯学習関連事業(133事業)を実施した。 社会教育施設や教育研究機関などと連携・協働し、美作学講座やつやま子ども未来塾等を実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>関係部署、関係機関等との連携・協働を進め、講座や行事の日程等を調整して、市民が主体的に参加できる生涯学習の機会を提供する。</p>		
協働による生涯学習推進体制の確立		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>生涯学習推進懇談会の実施をはじめ、NPO法人等と連携・協働し、中学生を対象としたワークショップや放課後子ども教室等を実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>生涯学習推進懇談会や各種の関係審議会の意見を踏まえて、生涯学習及び青少年健全育成の推進体制づくりを進める。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
生涯学習をしたことがある市民の割合	74.2%		77.1%			平成33年度にアンケート調査を行い、達成率を把握することになっている。

【施策の概要】

イ 学習情報・機会の提供	担当課	生涯学習課
市民が気軽に生涯学習に取り組めるように、メディアなどの媒体を通じて生涯学習情報を積極的に発信するとともに、学習の機会を提供した。また、講師や社会教育団体等の情報を、学びたい個人やグループ等に広く提供する体制づくりを進めた。		

【主な取組の評価】

生涯学習情報の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	生涯学習通信「まなびい」を広報紙（4月号）を通じて全戸に配布した。広報紙やチラシ、インターネットなどを通じて、生涯学習情報を発信し、市民の生涯学習を進める体制や環境づくりに努めた。		
課題と今後の方向性	多様な生涯学習が進められるよう、関係部署や教育研究機関の生涯学習関連情報を広く「まなびい」に掲載し、インターネットやフェイスブックを活用し積極的に発信する。		
ライフステージなどに応じた学習機会の提供		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	家庭教育や子どもの居場所づくり、青少年の健全育成、防災、防犯、環境、スポーツ、文化、健康づくりなどをテーマにして、学習機会を提供した。学びの成果を発表し、市民同士の交流を進めるため、公民館などの生涯学習施設で市民との協働による文化祭を開催した。		
課題と今後の方向性	ライフステージや現代的課題に対応した学習機会を提供し、学びの楽しさや心の豊かさにつながる生涯学習事業を実施する。		
生涯学習推進につながる支援の充実		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	市民のさまざまな学習活動のニーズに対応するため、講師や社会教育団体等の情報を生涯学習人材バンクに登録し、情報発信した。市民の希望に応じて、市の業務について出前講座（生涯学習リクエスト大学）を実施した。		
課題と今後の方向性	生涯学習人材バンクや生涯学習リクエスト大学の充実を図り、市民が自主的に多様な学びを進めることができるよう支援を行う。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
生涯学習リクエスト大学 市の業務の中で市民が聞きたいこと、知りたいことを、市職員が講師となり講座を開催	利用件数 207件 参加者数 15,255人 講座数 45講座	利用件数 231件 参加者数 12,361人 講座数 47講座	生涯学習リクエスト大学の利用者数 16,000人	未達成	77.3	平成28年度にクリーンセンターが完成し、ゴミの分別方法等の周知が行き届いたことから、ゴミに関する出前講座の依頼が減少した。

【施策の概要】

ウ 拠点施設の整備	担当課	生涯学習課 図書館
<p>(生涯学習課) 津山市公共施設再編基本計画との整合性を図りながら、津山市公民館整備方針に沿い、老朽化した公民館の計画的な整備を進めた。 また、利用者や地域住民のアンケート結果等の意見を踏まえ、新しい地域課題に対応した講座の開設を行った。</p> <p>(図書館) 本館・地区館ともに老朽化が著しく、空調や照明器具など計画的修繕が必要な状況であるため、関係部署との調整に努めた。 図書館運営については、美作大学や津山高専、津山中央病院医療情報プラザ、津山まちなかカレッジ等関係機関と連携した各種講演会や展示を行い、また館内に設置された放送大学津山教室の設置と放送大学岡山学習センターとの連携講座の開催など、地域の情報拠点・学習拠点として市民に役立つサービスの向上に努めた。</p>		

【主な取組の評価】

社会教育施設の整備		担当課	生涯学習課 図書館
取組結果と 成果	<p>(生涯学習課) 公民館整備方針に基づき、高野公民館の駐車場拡張工事を完了した。 平成28年度から工事着手しているつやま西幼稚園との複合化による二宮公民館の建替えは、令和元年8月下旬の供用開始を目指し、本体工事及び周辺整備工事を進めている。</p> <p>(図書館) 図書館は事業を通じた地域課題の解決支援を目的に、ビジネス支援講演会や健康セミナーなどを関係団体と協働して開催し、また津山線開業120周年記念事業の一環として公益法人放送番組センターの協力を得て「テレビ小説吉井川」の上映会を開催した。 放送大学津山教室では、放送大学岡山学習センターとの共催で公開講座を年2回行い、放送大学の学生に加え、一般の方の参加も得た。</p>		
課題と 今後の方向性	<p>(生涯学習課) 二宮公民館については、地元との調整を行いながら、引き続き開館に向けた準備や周辺整備を進める。 他の社会教育施設も安全性確保の観点から、必要な修繕を行う。</p> <p>(図書館) 施設の空調、照明器具などの計画的修繕対策を継続的に進める。 多彩な事業展開により地域課題に役立つ図書館として情報発信を行っているが、利用者は減少傾向にあり、一層の利用促進が課題である。</p>		
施設運営への市民参画		担当課	生涯学習課 図書館 スポーツ課
取組結果と 成果	<p>(生涯学習課) 公民館運営審議会において公民館運営方針を審議し、各公民館に設置している公民館活動推進協議会の協議を経て、特色ある公民館活動を推進した。 他の生涯学習施設でも、市民やボランティア団体などとの連携・協働による施設運営に努めた。</p> <p>(図書館) 生涯学習、子育て支援の拠点となるよう図書館ボランティアの協力を得て、本館・地区館で読み聞かせやおはなし会、民話の語りを聞く会などを開催し、親子でのふれあいなどを通じて本に親しみ、読書の楽しさを知るきっかけづくりを進めた。 「図書館総合展2018地域フォーラムin津山」の関連イベントとして市内3ヶ所の「まちライブラリー」(私設図書館)と連携して「本のイベント」を行い、連携を深めた。</p> <p>(スポーツ課) 体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、スポーツ振興財団などの関係団体や地域との連携強化を行った。また、市民や競技者にスポーツの機会を提供し、多くの市民が参加することができた。</p>		

課題と今後の方向性	(生涯学習課・図書館) 公民館運営審議会や公民館活動推進協議会、図書館協議会等、市民参画を積極的に進め、より利用しやすく、また魅力的な施設となるよう協議を進める。 (スポーツ課) 関係機関・団体とさらなる連携強化を図り、市民ニーズを的確に把握し、時代に即応したスポーツメニューの提供を図る。		
職員の資質向上		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	公民館長会で、館長同士の定期的な情報交換を行うとともに研修会を行い、また、司法書士の相続に関する研修会や岡山市など13の市町で構成されている岡山中枢連携都市圏協定に基づくESD研修会に参加し、資質向上に努めた。 岡山県が実施する社会教育関係者を対象にした研修会などへも参加した。		
課題と今後の方向性	現代的な課題に対応し、資質向上につながる研修会を工夫して開催する。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
生涯学習施設での魅力的な企画づくり 公民館・市立図書館・スポーツ・文化施設等の利用者数	1,638,245人	1,483,937人	1,550,000人	未達成	95.7	文化センター・郷土博物館・陸上競技場等の改修工事に伴い、大幅な利用者減(約11万人減)となった。

【施策の概要】

エ 生涯学習成果の活用	担当課	生涯学習課
<p>学びの成果が世代を超えて循環し、支え合う仲間づくりや持続可能な地域づくりにつながる生涯学習事業に取り組んだ。</p> <p>特に、公民館や市立図書館、学校等の地域の拠点施設において、ボランティアを活用し、学びの成果を活かす事業を実施した。</p> <p>さらに、コーディネーター役となる人材を積極的に育成するため、ボランティアの交流会・研修会を実施した。</p>		

【主な取組の評価】

学習成果を活かす意識啓発		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>公民館文化祭や津山市子どもまつりなどの場において、人材養成につながる取組を進めた。</p> <p>学校支援ボランティアや読み聞かせボランティア等を対象とした交流会・研修会において、学習成果を活かすワークショップを開催した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>ボランティア等の交流会・研修会を開催することで、学習成果を次の世代や地域に活かす意識啓発を進める。</p>		
持続可能な地域づくりのための生涯学習推進		担当課	生涯学習課
取組結果と成果	<p>持続可能な地域づくりにつながるESDの取り組みを市の関係部署で生涯学習関連事業として実施した。</p> <p>生涯学習活動を推進・支援する人材を発掘、育成、活用するため人材バンクの充実を図った。</p>		
課題と今後の方向性	<p>市民や社会教育団体、企業などの積極的な連携・協働を通じて、持続可能なまちづくりにつながる生涯学習活動に取り組む。</p> <p>市民からのニーズを引き出し、学びの成果を活かすことを推進する人材育成に努める。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
生涯学習活動を推進・支援する人材を発掘、育成、活用するための仕組の構築 津山市生涯学習人材バンクの登録者数	登録者数 106人・団体	登録者数 128人・団体	登録者数 150人・団体	50.0	85.3	生涯学習活動を推進・支援する人材を発掘・育成・活用するため、引き続き津山市生涯学習人材バンクの登録者数を増やす。

(2) スポーツ活動の充実**【施策の概要】**

ア 生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ課
<p>津山市第5次総合計画及び新津山市スポーツ推進基本計画にもとづき、市民の健康づくりや体力づくりを推進し、市民一人ひとりが気軽にスポーツに親しめる機会の提供と、新しいスポーツメニューの提供を行った。</p> <p>また、スポーツ指導者の資質向上や育成などの諸課題を関係団体と共有し、連携を強化することで、「参加するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を総合的に推進するとともに、本市のスポーツ活動活性化のためにスポーツによる交流人口の増加に取り組んだ。</p>		

【主な取組の評価】

関係団体との連携		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	津山市スポーツ協会、津山市スポーツ推進委員、津山市スポーツ少年団、津山スポーツ振興財団などのスポーツ関係団体と連携、協働し、つやま市民スポーツ祭や各種スポーツ教室などを実施し、多くの参加者を得た。		
課題と今後の方向性	スポーツ関係機関・団体と連携強化を図り、市民ニーズを的確に把握し、時代に即応したスポーツメニューの提供を図っていく必要がある。		
指導者の育成と確保		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	スポーツ推進委員については、岡山県や中国地区、全国レベルの研修会に参加した。また、スポーツ少年団は、母集団研修会や指導者研修会に参加、体育協会においては、育成指導委員会を中心にスポーツ指導者研修会を開催し、知識の向上とレベルアップを図るとともに、新たに子供たちにスポーツ教室体験イベントを実施し、スポーツの普及を促進した。		
課題と今後の方向性	人材の確保と個々のスポーツ技術や資格取得のための支援が必要である。		
「参加するスポーツ」の提供		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	つやま市民スポーツ祭、ウォークラリー、オリエンテーリングなどのスポーツ行事や各種スポーツ教室（グラウンドゴルフ教室、ニュースポーツ教室、親子チャレンジ教室）など各種スポーツ教室を企画・実施し、多くの参加者を得た。		
課題と今後の方向性	市民のニーズを的確に把握し、時代に即応した新たなニュースポーツメニューの提供を図っていく必要がある。		
「見るスポーツ」「ささえるスポーツ」の提供		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	加茂郷フルマラソン全国大会の実施やそれに伴うボランティア参加、シャルム（女子サッカー）プロスポーツチームのゲーム観戦を提供し、参加を得た。		
課題と今後の方向性	スポーツ大会やイベント等の情報発信や普及啓発を推進し、スポーツを親しむ機会の充実を図っていく必要がある。		
津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金 2,740人 2,532千円		
課題と今後の方向性	対象施設を津山市所管の全スポーツ施設としたスポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度を活用することにより、競技力向上と交流人口の増を引き続き図っていく。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
スポーツ指導者数とスポーツ教室や大会参加者数 社会体育における指導者数 【スポーツ推進員】	63 人	57 人	67 人	未達成	85.1	指導者の高齢化の影響もあり、減少する傾向にあるので、スポーツ協会等スポーツ団体とも連携を図りながら、増加に転じるよう検討したい。
社会体育における指導者数 【スポーツ少年団指導員】	696 人	536 人	750 人	未達成	71.5	少子高齢化によりスポーツ少年団の指導者も減少する傾向にあるので、スポーツ協会等スポーツ団体と連携を図りながら増加に転じるよう検討したい。
社会体育における指導者数 【スポーツ少年団指導員(うち認定指導員)】	373 人	348 人	400 人	未達成	87.0	少子高齢化によりスポーツ少年団の認定指導者も減少する傾向にあるので、認定指導員に関する交付金制度の推進を図りながら増加に転じるよう検討したい。
スポーツ教室や大会への参加者数	11,773 人	11,372 人	12,000 人	未達成	94.8	悪天候やイベントの重複により、つやま市民スポーツ祭の参加者が減少しており、今後イベントの内容の見直しも検討したい。

【施策の概要】

イ スポーツ環境の整備	担当課	スポーツ課
<p>市民の誰もが生涯にわたり、スポーツ活動に取り組むことのできる環境を整備していく。 施設整備については、施設の老朽化へ対応するために安全性と緊急性を考慮しながら、優先順位を定めて改修・修繕を実施した。 また、施設利用者の目的とニーズに応じた情報サービスの提供と、利便性の向上による施設の利用拡大に取り組んだ。</p>		

【主な取組の評価】

スポーツ施設等整備事業		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	第2種陸上競技場の公認更新のため、平成30年11月より岡山県津山陸上競技場のトラック等の改修を行い、平成31年3月に完了した。		
課題と今後の方向性	引き続き緊急性と安全性による優先順位を定めて、計画的な施設・設備の整備と、安心安全な施設サービスの提供に努めていく。		
利便性向上		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	ホームページ等による情報発信は、随時実施した。 ネットで申込ができる施設予約システムについては、岡山県の協議会で検討され、引き続き安定している現状のシステムが採用された。		
課題と今後の方向性	ホームページ等による情報発信は、引き続き実施する。		
指定管理の導入によるサービス向上		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	久米市民プールレインボー・グラスハウスについて、指定管理者とスポーツ課との日常的な情報交換や定期的な協議会の開催などにより管理運営についての検証を行うとともに、サービスの向上と魅力あるプログラムやイベントの実施による利用者の増加を図り、安定した管理運営を継続できた。		
課題と今後の方向性	指定管理が平成32年度に終了するグラスハウスについて、今年度中にグラスハウスのあり方について検討・方針を定める。 他のプールについても今年度中にあり方について検討・方針を定める。		
津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金 2,740人 2,532千円		
課題と今後の方向性	対象施設を津山市所管の全スポーツ施設としたスポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度を活用することにより、競技力向上と交流人口の増を引き続き図っていく。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
スポーツ・運動活動の拡大 社会体育施設の年間利用者数	861,681人	813,792人	800,000人	達成	101.7	スポーツ推進基本計画に基づき、年次的にスポーツ環境の整備を進めていく。

【施策の概要】

ウ 競技力の向上	担当課	スポーツ課
関係機関・団体が実施する専門性の高い指導者研修会などへの参加を促進し、指導者の育成に取り組んだ。また、優秀選手を育成するために、全国大会などに出場する選手への激励会の開催や激励金の交付、表彰による顕彰を行い、マスコミ等を通じて情報発信を行った。		

【主な取組の評価】

研修会の開催		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	スポーツ推進委員、スポーツ少年団、体育協会において、専門性を高める指導者研修会を開催し、スポーツ指導者の資質向上と活用に努めた。		
課題と今後の方向性	スポーツ少年団の認定指導員の資格取得に向けて受講を促すとともに、専門性の高い指導者を育成するための支援策を構築していく必要がある。		
優秀選手の激励と顕彰		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	優秀選手の顕彰を行うため、平成30年度においては、全国大会等に出場する選手の激励壮行会の開催と、294人、2団体(55人)に対して、172万5千円の激励金を交付した。対象競技については、陸上競技、サッカー、水泳、柔道、空手、ソフトボール、など多項目にわたっている。		
課題と今後の方向性	全国大会等に出場する選手に対しての激励壮行会の開催や激励金交付については現状を維持し、優秀選手の顕彰も含めて、マスコミ等への情報発信手段を活用し、市内外に周知していく。		
夢アスリート事業		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	4団体(津山剣道連盟・津山市陸上競技協会・津山市ハンドボール協会・津山市バドミントン協会)において実施した。 全国大会出場(剣道・陸上競技)、中国大会出場(バドミントン・ハンドボール)などの成果があった。		
課題と今後の方向性	事業実施団体における指導者の確保と選手選定方法の統一を行い、継続して事業を実施する。		
津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金		担当課	スポーツ課
取組結果と成果	津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金 2,740人 2,532千円		
課題と今後の方向性	対象施設を津山市所管の全スポーツ施設としたスポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度を活用することにより、競技力向上と交流人口の増を引き続き図っていく。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
競技力の向上 全国大会等への出場者数【個人】	272 件	295 件	300 件	82.1	98.3	スポーツ推進基本計画に基づき、激励金・激励会の開催、指導者の育成、スポーツ大会の後援や共済、スポーツ大会補助金の活用等を図りながら、競技力の向上を目指す。
全国大会等への出場者数【団体】	6 件	2 件	7 件	未達成	28.6	スポーツ推進基本計画に基づき、激励金・激励会の開催、指導者の育成、スポーツ大会の後援や共済、スポーツ大会補助金の活用等を図りながら、競技力の向上を目指す。

(3) 芸術・文化活動の充実**【施策の概要】**

ア 市民文化の創造と継承	担当課	文化課
津山市では市民や市民団体による自主的で多彩な文化活動が活発であり、その文化活動支援事業や発表・鑑賞機会の提供を実施し、多くの市民の参加や交流が促進された。 文化活動の活性化を図り、文化活動を担う人材や文化団体の育成・支援を行ない、個人・民間団体・県などと連携・協働して、多くの市民が優れた芸術文化と歴史遺産に触れ、鑑賞する機会の創出を図った。		

【主な取組の評価】

文化事業の充実		担当課	文化課
取組結果と成果	市民の自主的な創造活動の支援と発表・鑑賞機会の提供を目的として、西東三鬼顕彰事業、ふるさと俳句投句函の設置、津山市写真展、津山川柳大会、津山文化教室、学校での俳句教室、各文化センター自主事業などの文化振興事業の推進を行なった。なお、事業実施にあたっては広く市民にPRを心掛け、多くの市民が文化芸術に触れる機会の充実を図った。		
課題と今後の方向性	これまでの芸術文化事業の充実を図るとともに、新しい事業の展開や各機関と連携をとり、参加者・応募者の増加などに向けた取り組みを工夫していく。		
文化活動への支援		担当課	文化課
取組結果と成果	津山市文化連盟や(公財)津山文化振興財団などの文化団体への支援を行い、市民の主体的な芸術文化活動の活性化を図った。津山市文化連盟では、文化講演会や芸術文化祭、歴史めぐりなどを開催した。 地域愛の醸成や津山市文化芸術激励金を活用して、文化活動の活性化及び人材育成を図った。		
課題と今後の方向性	高齢化社会の到来を迎え、市民ニーズを踏まえた芸術文化活動の展開や人材育成を視野に入れた事業に取り組み、また津山市文化振興基金の活用の検討をする。		
推進体制の充実		担当課	文化課
取組結果と成果	文化の推進に向けて、県、(公財)岡山県文化連盟、津山市文化連盟、(公財)津山文化振興財団などと連携強化を図り、津山市の文化行政の推進体制の充実に努めた。		
課題と今後の方向性	市内で活動する市民・文化団体・NPO団体・企業などとの連携を図るため、推進体制を強化し、若い人も気軽に参加しやすい文化事業に取り組む。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
芸術文化の振興 西東三鬼賞投句数	4,071句/年	5,059句/年	4,200句/年	達成	120.5	津山市出身の俳人「西東三鬼」の業績を顕彰し、文芸を振興することにより、広く全国に「三鬼=現代俳句の街津山」を発信するため、全国から作品を募集し、優秀作品を表彰する。
芸術・文化事業への後援件数 (教育委員会)	110件/年	101件/年	120件/年	未達成	84.2	各事業への後援を積極的に行い、芸術文化活動の推進を図っている。また、他部署に申請された事業についての情報共有が必要。

【施策の概要】

イ 文化環境の整備	担当課	文化課
文化センターなどの公共ホールにおいては、施設の規模や機能に応じた活用や市民が利用しやすい運営やサービス強化を指導し、優秀な芸術活動の鑑賞機会の提供を行い、文化芸術の拠点としての充実を図った。		

【主な取組の評価】

美術館・博物館整備事業		担当課	文化課
取組結果と成果	「津山市美術館構想審議会」からの答申を受け、城下地区を重点候補地として用地検討をしているが、国際ホテル移転等の影響もあり事業全体としては、進展していない。		
課題と今後の方向性	事業の方向性について検討が必要。		
津山文化センター整備事業		担当課	文化課
取組結果と成果	開館後50年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、平成27年に耐震診断を行なった結果、耐震化促進法に適合する施設として、大規模改修に取り組んだ。平成29年度に基本設計、平成30、31年度で実施設計・施工を行う。（令和2年3月に完了予定）		
課題と今後の方向性	令和2年3月の完成に向け、改修内容の確定・工期の管理が重要である。		
旧妹尾銀行林田支店（旧洋学資料館）活用事業		担当課	文化課
取組結果と成果	本市の指定文化財である旧洋学資料館を新たな発信・交流基地とし、また、観光プログラムと連携し、本市が進める地方創生の滞在型観光のまちづくりの柱の一つとして整備した。		
課題と今後の方向性	平成30年10月から指定管理による施設管理が開始。また、施設を中心としたアートとデザインをテーマとしたイベントを開催する新たな事業も開始する中で、さまざまな調整等が必要となる。		
知新館活用事業		担当課	文化課
取組結果と成果	活用についての検討は行っているが、具体的な方針は決定していない状況である。		
課題と今後の方向性	引き続き、幅広い活用を検討していく必要がある。		
文化施設の利用促進と整備		担当課	文化課
取組結果と成果	文化センターなど4つの公共ホールには、指定管理者制度を導入しており、住民サービスの向上や効率的な施設管理が図られるよう指導している。近年の利用者数はおおむね横ばいで、利用促進に向けた取り組みが必要。 安全で快適な施設利用を図るため、小規模修繕及び備品更新を適宜行った。 津山文化センターにおいては、耐震補強及び大規模改修のための実施設計を行い、工事着工した。		
課題と今後の方向性	「津山市公共施設マネジメント基本方針」に基づいた計画的な施設改修整備やソフト事業の積極的な推進により、施設利用者数の増加を図っていく。 各施設共に、老朽化が進んでおり修繕費用の捻出に苦慮している。		

文化情報の収集と発信・提供		担当課	文化課
取組結果と成果	市民の多彩で活発な文化活動を促進し、優れた芸術作品の鑑賞機会充実のため、市内4ホールを最新情報を津山市HPなどで公開したり、各指定管理者が独自のネットワークやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）・季刊誌・チラシの配布を行ない、ホール事業のさらなる発信に努めた。		
課題と今後の方向性	文化の発信拠点として、広く文化情報の提供・発信を行うため、広報紙やチラシなどの紙面の活用やインターネット等の電子メディアを活用し、市内外への継続的な発信に取り組む。 情報の発信に際しては、利用者の視点に立ち、求められている情報を機会を捉えて発信する。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
公共文化ホールの活用 公共文化ホール利用者数〔累計〕	188,000人	131,337人	200,000人	未達成	50.5	毎年発生する修繕案件について、全てについては対応できていない状態であり、年次的な修繕計画及び予算の確保が必要がある。 津山文化センターが休館中のため、現況値が低くなっている。

(4) 歴史文化の継承と文化財の保存・活用**【施策の概要】**

ア 文化財の保存と活用	担当課	文化課 歴史まちづくり推進室
文化財を後世に継承し、その保護・保存を図っていくため、各地域の文化財の調査、研究を押し進め、文化財の保存と活用に関する基本的なアクションプランである「文化財保存活用地域計画」を策定する。文化財で重要なものは指定や登録をおこない保護すると共に文化財の活用についても検討する。また、文化財の調査研究成果などは講演会や説明会で広く公開に努める。		

【主な取組の評価】

調査研究と保護施策の推進		担当課	文化課
取組結果と成果	文化財保護の基本的なアクションプランである、「文化財保存活用地域計画」の策定に、地域の団体などと協働しながら取りかかった。		
課題と今後の方向性	地域の協力を得ながら実施しているが、市内全域の文化財調査を網羅する必要がある。今後も文化財指定などの保護策を推進させる。		
文化財の公開と学習機会の充実		担当課	文化課
取組結果と成果	史跡津山城跡の整備事業や高野神社本殿屋根修理事業、埋蔵文化財発掘調査に伴う現地説明会を開催し、出前講座の実施など広く市民に公開した。		
課題と今後の方向性	現地説明会や講演会を開催し、一人でも多くの方に参加してもらうための周知方法などを工夫する。		
指定文化財の保存修理と整備		担当課	文化課
取組結果と成果	県指定高野神社本殿屋根の修理事業などに取りかかり、史跡津山城跡の第一期整備計画にそった整備事業を実施した。		
課題と今後の方向性	史跡津山城跡や史跡美作国分寺跡の整備事業、文化財の保存修理事業を計画的に実施する。		
市民や関係部局、団体との連携		担当課	文化課
取組結果と成果	文化財の保存管理のため地元町内会や保存会に委託して、史跡の草刈り事業などを実施した。		
課題と今後の方向性	今後も関係団体などとの連携を強化する。		
歴史資産の保存と町並み景観の整備		担当課	文化課 歴史まちづくり推進室
取組結果と成果	平成25年8月に国の重要伝統的建造物群保存地区へ選定された城東伝統的建造物群保存地区は、平成30年度は修理4件を実施した。 城西地区については、重伝建選定に向けて建物の調査を終了し、地元住民への重伝建制度説明を開始した。 津山市景観計画に基づき、特に良好な景観を形成する必要がある区域を景観計画重点区域とし、平成30年度は届出件数54件（うち景観形成重点地区6件）に対し、指導を行った。		
課題と今後の方向性	町並み景観向上のための歴史的風致維持向上計画における重点区域内において修理・修景事業を計画的に進め、歴史的風致の維持向上に努めるとともに津山市景観計画に基づき、良好な景観を維持するべく努める。		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組(事業名) 事業指標(内容)	基準値 (計画策定時) a	現況値 (H30数値) b	目標値 (H33) c	達成率及び進捗率		
				目標に対する 達成率(%) (b-a)/(c-a)	目標に対する 進捗率(%) (b/c)	課題・今後の方向性等
文化財の指定・登録 指定及び登録文化財すべての件数【累計】	218件	218件	230件	未達成	94.8	H30年度は新規指定が無かったが、今後も保護策に務める。
伝建地区景観の整備 建造物の修理修景件数【修理】	11件	22件	37件	42.3	59.5	城東重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理を計画的に進める。
建造物の修理修景件数【修景】	2件	3件	14件	8.3	21.4	町並み景観向上のための修景事業を計画的に進め、歴史的風致の維持向上に努める。

【施策の概要】

イ 郷土史学習の推進	担当課	文化課 津山市史編さん室
<p>地域の歴史や人物・文化等について市民の理解を深めるため、津山郷土博物館、津山洋学資料館、津山弥生の里文化財センターにおいてそれぞれの分野での講演会や現地での説明会、ワークショップなどの教育普及事業や、職員の外部への出講、外部講師や印刷物による研究成果の公開など、専門的な学術研究の成果に基づいた学習機会を提供した。</p> <p>現時点での地域史における研究成果をまとめ、郷土史学習にも役立てることを目的とした『新修津山市史』の編さんを推進した。また、市史編さんに伴う調査によって、蓄積された学術的な成果を市民に対して公開した。</p>		

【主な取組の評価】

市史編さん事業		担当課	津山市史編さん室
取組結果と成果	<p>各専門部会で資料調査を継続的に行い、その調査に基づき『新修津山市史』の本編各巻の内容構成の検討や掲載資料候補の選定を進めた。</p> <p>調査成果を「津山市史だより」第12～14号などに発表して市民に公開した。</p> <p>市史編さんに伴う市民向けの成果報告として、『美作学講座』を他課及び外部の教育機関と共催して年間4回開講。多くの市民が専門的な視点から郷土の歴史を学ぶことができた。</p>		
課題と今後の方向性	<p>刊行に向けての計画的かつ継続的な資料調査及び調査体制の充実。</p> <p>適切な刊行スケジュールの設定と見直し作業を行い、計画的な執筆・編集を図ってゆく。併せて、刊行の本格化に伴う事務体制の充実に取り組む。</p> <p>編さん事業の周知と、調査成果の公開について積極的に取り組む。</p>		
学術研究の成果にもとづいた学習機会の提供		担当課	文化課
取組結果と成果	<p>郷土博物館では、耐震休館中のため展示公開事業は中止したが、「町奉行日記」の解説・出版や博物館だよりの発行（年4回）は従来どおり実施した。また、外部からの講演依頼にもできる限り対応し、市民に幅広く歴史学習の機会を提供した。</p> <p>洋学資料館では、外部研究者を招いての文化講演会や、外部との共催による公開討論会を開催した。また、館事業の企画展（年間4回）や学芸員による講演会を通じて研究成果を市民に公開し、研究誌や機関誌を通じて館の活動を周知した。</p> <p>弥生の里文化財センターでは、市民を対象にした史跡津山城跡の発掘調査現地説明会、指定文化財修理現場の見学会を実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>外部研究者との連携する体制の構築や、市民に提供する成果・内容の質を高めるため、職員一人一人の能力の向上を図る必要がある。</p> <p>専門職員としての研修機会の充実、研究環境の整備に取り組む。</p>		
郷土を大切に作る心の醸成		担当課	文化課
取組結果と成果	<p>郷土博物館では、小学生向けの弥生土器・勾玉作りの体験教室、成人向けの古文書講座や文化財めぐりを実施し、郷土の歴史への関心を喚起するように努めた。</p> <p>洋学資料館においては、来館時の学芸員による解説やスポット展示、外部出講等の機会を活用し、郷土出身者の事績をわかりやすく伝えた。また、宇田川榕菴の著した『舎密開宗』からの再現実験を通して、その人物や業績を紹介した。</p> <p>弥生の里文化財センターでは、本市の文化財保存活用地域計画を作成中で、これについては文化財調査報告会で報告した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>郷土史は極めて広範囲にわたるため、分野により対応が困難な場合や、想定される受講対象者との情報交換が困難な場合がある。</p> <p>関係者と持続的かつ幅広く連携し、課題を抽出しながら郷土に関係した様々な学習・体験のできる事業を継続して行っていく。</p>		

地域の学習資源の活用		担当課	文化課
取組結果と成果	<p>全国的に注目度の高い江戸一目図屏風の高精細デジタルデータのネット公開や、津山藩大名行列図の複製巻物の学校への貸出により、津山市の文化財を学習資源として広く提供した。</p> <p>洋学資料館での6年生に対する館内見学や各種団体への活動支援などを通じて、近世から近代にかけての歴史や洋学に関する学習活動を支援した。</p> <p>弥生の里文化財センターでは小学生の館内見学、火起こし体験のほかに、隣接する沼遺跡（復元住居・倉庫）の見学を実施した。</p>		
課題と今後の方向性	<p>学校や地域との連携をはかり、地域の学習資源や教材についての周知を図る。調査活動等を通じて新たな学習材料の発掘に取り組む。</p>		

【教育振興基本計画における重点取組の進捗状況】

取組（事業名） 事業指標（内容）	基準値 （計画策定時） a	現況値 （H30数値） b	目標値 （H33） c	達成率及び進捗率		
				目標に対する達成率（%） (b-a)/(c-a)	目標に対する進捗率（%） (b/c)	課題・今後の方向性等
博物館等の利用 津山郷土博物館、津山洋学資料館、津山弥生の里文化財センター、歴史民俗資料館（加茂、勝北、久米）の年間利用者総数	25,000人	11,977人	28,000人	未達成	42.8	津山郷土博物館が耐震工事終了後の展示内容等の検討、民俗資料館(加茂、勝北、久米)については、今後どのような形としていくか協議が必要。

学識経験者（外部評価者）の総評

はじめに

平成30年度に実施された教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検させていただいた。津山市教育委員会関連の事務の管理・執行については、津山市教育振興基本計画の第2期計画に基づき、新たな課題への対応も取入れ、現実の課題に即応した執行状況であった。

昨年、担当部署間、職員間で評価基準の共有が必要と感想を書いたが、本年は評価基準のわかりにくい自己評価を取りやめ、重点取組の進捗状況の表の記載のみに改められており、わかりやすいと感じた。

平成30年度教育委員会の活動状況

5人の教育委員による教育委員会活動は、幼児・学校教育、生涯教育の多様な分野を精力的に把握・研修され、地域の実情に応じた教育の振興を図られていると感じたが、昨年度は教育長の交代もあり、全国・中国地区の大会への参加がなかったようである。今後は、極力、国の動向や他地域の情報などの収集に努め、津山市の教育の具体的な施策につなげていただきたい。

また、総合教育会議では、教育の条件整備や児童生徒の身体保護等緊急を要する措置など市長と一層の連携を図り、教育の充実に努めていただきたい。

各施策の点検・評価

1 個の確立とつなぐ力を育む【幼児教育】【学校教育】

(1) 幼児教育の充実

幼児教育については、幼稚園再構築で東エリアの園はすでに開設されており、西エリアの園は本年8月から新園舎になる予定である。特別支援教育の充実や教育・保育機関の連携も円滑に図られており、就学前の教育が今後、充実していくことを期待したい。

しかし、特別支援を要する子どもは増えていると聞く。関係する様々な機関・人とつながりながら、適切な支援を行っていただきたい。また、二つの園の安心安全の確保にも注力していただきたい。

(2) 義務教育の充実

○ 外国語教育では、市独自で小学3・4年生に年間35時間の授業を組み、先行実施している。この取組が先で実ることを期待したい。また、業務アシスタントや校務支援員の配置、校務支援システムの採用により、教師が子どもと向き合える時間を確保できるようになったが、今後一層この仕組みが円滑に活用できるように教員や現場での研修も含め、取組の充実をお願いしたい。

○ 道徳の授業が始まっている。道徳は、人が人としての基本的な考え方や行動を学ぶものであると認識する。県の指導以外に津山市の子どもの実情に即した市独自のスタイルを模索できないか、取り組んでいただければと思う。自分の権利とともに他の人の権利も大切にすることが、共に幸せに暮らせることにつながることを理解し、社会生活者としての規範を身に着け、豊かな心の育成が図られることを願う。

○ 美作大学と連携し、リズムジャンプを取り入れ、運動に親しむ環境を整えたことはよい取組である。今後も進めていただきたい。朝食摂取率が下がる傾向にあるが、引き続き健康教育や食育を通じて、基本的な生活習慣の改善に取り組んでいただきたい。

○ サテライト指導の取組は、通級指導に在籍する子どもたちにとって学校生活の質が向上するものと認識する。今後も続けていただきたい。また、特別支援学級へのサポートも推進センターの巡回などを活用し、個々の子どもたちへの指導の充実を図っていただきたい。

(3) 教育環境の充実

- 空調施設整備について、現在大規模改修中のプレハブ校舎も含めすべての学校の普通教室及び特別支援学級の教室で整備が完了したことは、子どもたちの健康管理の面で非常に喜ばしいことで安心した。さらに洋式トイレの整備にも順次取り組み、快適な環境を整えていただきたい。

学校給食に関して、給食がおいしいとの評価を聞く。2つのセンターは、一度に大量の調理をすることもあり、調理機器も思ったより早く更新せねばならないであろうが、日頃の点検を徹底し、異物混入とならぬよう安全な給食を提供するとともに、子どもたちの健康と発育に鑑みた献立等に取り組んでいただきたい。

2 身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】

(1) 青少年の健全育成の推進

青少年の健全育成の推進については、街頭指導やあいさつ運動などの地道な活動により一定の成果が上がっている。また、青少年育成団体連携事業も継続されている。しかし、今後は時代の変化もあり、他地域の例も参考にして新しい健全育成の施策に取り組み、よりよい青少年の育成に努めていただきたい。

鶴山塾は時代のニーズで、義務教育の年齢を超えてもアウトリーチ型の支援が求められている。青少年の社会的自立に向けて青少年育成センター等他機関とネットワークを確立し、情報の収集・交換や支援を進めていただきたい。

(2) 家庭・地域の教育力の向上

学校・家庭・地域が連携して地域全体で子どもを支える環境づくりは、年々取組が充実してきている。教科書音読発表会や読み聞かせキャラバンの実施などで児童の読書習慣の定着割合はすでに目標を達成したが、今後も高率で維持させてもらいたい。

津山市家庭教育支援チームが、啓発資料「はびまる」を使って子育て情報を発信している。親学講座や家族ふれあい教室が、家庭の教育力向上推進の一助になることを期待したい。つやま子ども未来塾の実施など、地域資源を活用した学習の推進が引き続き図られている。子どもから大人まで、さらには親子で触れ合える学習機会を提供していただきたい。

3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む【生涯学習・スポーツ・文化】

(1) 生涯学習環境の整備

生涯学習の推進は、二宮公民館や高野公民館などの拠点施設の整備も含めて、着実に成果が上がってきている。特に40周年を迎えた図書館の様々な企画は、市民のニーズを的確に捉え、参加したいと思えるものが多い。

生涯学習は広範囲な分野であるが、今後もライフステージや現代的課題に対応した学習機会を提供して、市民が老若男女を問わず、学びの楽しさを楽しむことができるように多くの事業を展開していただきたい。

(2) スポーツ活動の充実

健康づくり・体力づくりの観点からの「参加するスポーツ」は年々浸透が図られている。7月に本市でニュースポーツ「ピックルボール」の日本選手権が開催された。市内の競技人口が増えているという。「参加するスポーツ」「見るスポーツ」「ささえるスポーツ」を総合的に推進し、今後も市民の多くがスポーツに親しむ機会の充実を図っていただきたい。また、スポーツ推進委員、指導者の技術向上や人材の確保に努め、生涯スポーツの振興、競技力の向上に努めていただきたい。

(3) 芸術・文化活動の充実

テレビによる俳句ブームもあり、西東三鬼賞の応募数は2年前より1,000句も増えている。学校への出前講座もなされており、津山は今や俳句のまちと言えるのではないか。この津山の魅力を観光のポイントと捉え、関係部署と連携して全国に発信していただきたい。

津山国際総合音楽祭は10回開催されてきた。ここを一つの区切りとして新たな音楽祭の形を検討していると聞く。10回の音楽祭で津山市の文化度を広く内外に発信し、経済波及効果をも生むことができた。新たな音楽祭は市民ニーズを取り入れつつも、この点も考慮した形になることを期待したい。

(4) 歴史文化の継承と文化財の保存・活用

「文化財保存活用地域計画」が本年度中に策定される。来年度には国の認定を受け、文化財の保存と活用が図られることとなる。これには観光振興の要素も入っており、可能な限り文化財及び文化財の研究成果が広く公開されることになる。昨今の歴史ブーム、城ブームもあり、市外の多くの人を招来する絶好の機会になってくれればと期待したい。

「津山市史」、城跡の整備、国分寺跡公有化などの事業も少しずつ進捗している。本年は城西地区で新たな重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた事業が進展している。美作国津山の往時の姿と町づくりに携わった多くの先人たちに思いをはせ、子どもたちに残してあげたいと願う。

おわりに

日常生活の中で、私たちは様々な人と出会い、かかわりあっている。人と人とがつながっている。そのつながりで社会ができており、つなぐ力がなければ社会の中では歩きにくくなってしまふ。人と人とがよりよくつながるために、「つなぐ力を育む」ことが教育活動の究極の目的といえよう。津山市の教育理念である。

家庭・学校・地域、そして世代を超えて、私たち一人ひとりがこのことを理解して、まち全体で人を育む「つなぐ力」を培って、私たちの津山を愛情あふれる温かいまちにしていかなければと思う。

はじめに

「平成30年度教育に関する管理及び執行の状況の点検・評価報告書」について、第三者としての視点で検討評価させていただいた。津山市においては、10年先を見通した津山市教育振興基本計画の第1期計画(平成28年度で終了)の成果と課題を検証し、新たな課題への対策を取り入れた同第2期計画(平成29年度～令和3年度)が作成され、本年度はその2年目に当たる。その観点から、津山市教育委員会が所掌する広範囲な事業の執行状況について、関係各課からの説明を受けた。その内容は概ね納得できる状況であり、連携・協力しながら着実かつ意欲的に努力されていることに敬意を表したい。今年度は報告書の様式も分りやすいように改善されている。

ただし、計画実施の2年目という面では検討をしてもらいたい面もあり、そのことも含めて記し、今期の目標達成に向けて推進させていただきたい。

それぞれの点検・評価について

1 個の確立とつなぐ力を育む【幼児教育】【学校教育】

(1) 幼児教育の充実

公立・私立保育園(所)・認定こども園・幼稚園がそれぞれの要領・指針を計画的に研修し、実践されている。「津山市における保幼こ小接続カリキュラム」が確実に実施されているが、定期的に研修と実践の点検をされたい。

近年増加傾向にある特別な支援を必要とする幼児の実態に応じては、実践的な研修を積むとともに関係課・機関と連携しながら、津山市特別支援教育推進センターの機能(通級指導も含む)を生かし、様々なニーズに実践で対応されることを継続されたい。

(2) 義務教育の充実

学力向上については、全国学力・学習状況調査の結果を「3年後、偏差値50を目指す」と数値目標も示された。小中学校に配置されている授業改革推進チームにより、各学校・各教職員に授業研究の機運が高まり、ICTを活用した多彩な授業も展開されている。「問題データベースの活用」「補充学習」「家庭学習」などで教育効果を高めている学校などの授業公開や、家庭学習をより一層定着させるため、生活習慣調査、情報モラル教育などはPTAを巻き込んだ取組も必要かと思う。

外国語教育は教員の実践力を高めるため、計画的に中学校と相互乗り入れを行い、指導力を向上されたい。学校の中でALTが適切に児童生徒と関わり、明るく楽しく「話すことができる外国語活動」を展開されたい。ALTを活用した公開授業を小中学校で多く開催し、活力ある外国語授業と「話すことを中心とした外国語」を児童生徒に身に付けていただきたい。

特別支援教育は益々その必要性が高まっている。「津山市特別支援教育推進センター」の存在価値は大きく、関係課・機関と柔軟に連携し、特別な教育的ニーズに対応されたい。教職員の実践的研修、特別支援教育コーディネーターの育成、個別の支援計画の実働的な活用、公開授業を計画的に実施し各学校で共有されたい。また、必要な人的支援もお願いしたい。

長期欠席者や不登校にある児童生徒が増加傾向にあるのは心配である。小学校時代にこの傾向があると中学校になって改善しにくい。専門家とつながり鶴山塾の機能や教育支援アドバイザーの粘り強い活動で早期に改善されたい。

「特別の教科道徳」が小学校で本格実施され、中学校は平成30年度が直前準備期間だった。津山市学校教育研究センターの道徳部会や、道徳教育推進教師の連絡協議会を計画的に実施し、「特別の教科道徳」の実践を充実していただきたい。

健やかな体の育成には、学校体育の充実と運動する習慣、基本的な生活習慣の確立、食育の推進が大きく関係する。体育では地元の美作大学と連携したリズムジャンプの取組は継続されたい。朝食の摂取率が小中学校で昨年度より低下しているので、基本的な生活習慣・食習慣について啓発活動とより具体的な行動計画を検討されたい。

地域に開かれた学校運営では、公開された学校評価書を各校園がどのように生かすかが大切と思う。また、地域学校協働活動は学校支援に欠かせない。実働する学校支援ボランティアと地域コーディネーターの存在は特に重要である。学校園との連携を良好なものにするとともに、人材確保も喫緊の課題になるとと思われる。

(3) 教育環境の充実

津山市学校施設整備方針に基づき、老朽化した施設の大規模改修や年次計画的な施設整備が実施されている。空調設備も全小中学校の普通教室及び特別支援学級の教室に設置が完了し、学力向上の側面を支えありがたい。洋式トイレの普及など教育環境の水準を高めようと努力されている。

学校プールの統廃合や運営の見直しについて、ファシリティ・マネジメントからの答申があった。児童生徒がプールに親しむことや泳力向上、安心安全面と費用対効果面などあらゆる方向から慎重審議を進められたい。

2 身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】

(1) 青少年の健全育成の推進

青少年の健全育成の推進については、街頭補導や健全育成関係団体の継続的な活動により一定の成果が上がっている。「鶴山塾」の相談活動は成果が高く、年々その機能が強化されている。今後は義務教育終了後、所属のない青少年への支援も必要となろう。

(2) 家庭・地域の教育力の向上

学校・家庭・地域が連携して、地域ぐるみで子どもたちを支援する活動が進んでいる。「地域学校協働本部事業」、「放課後子ども教室」が学校を支援し、また、市立図書館の様々な活動と情報発信、「津山まちなかカレッジ」との連携による「リカレント教育」の機会の提供はありがたい。

家庭教育の学びの機会に保健師等と連携した啓発資料の発信や、子育ての課題に対応する相談や講座は、子育てに悩みを持つ親にとってありがたい。「親学講座」や「地域資源や地域史を活用した講座」、「つやま子ども未来塾」など家庭・地域の教育力に資するよい講座を開催されている。最近の課題に応じた講座の開発も行い、身近な人々をつないでいただきたい。

3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む【生涯学習・スポーツ・文化】

(1) 生涯学習環境の整備

「生涯にわたって生き生きと学習すること」は広く推奨されている。そのための人と場と機会と情報提供が必要である。推進計画に基づき拠点施設の整備も進んでいる。市民一人ひとりが情報により「学ぶきっかけ」を見つけ、その楽しさを共有する人がつながり、活動の場を探し、気軽に生涯学習課を尋ねるようになってもらいたい。生涯学習により健康で心豊かな人生と、人と人がつながっていくような事業を推進していただきたい。

(2) スポーツ活動の充実

生涯学習と同じく生涯にわたって健康づくりや体力づくりを推進し、スポーツを楽しむことは、各年齢層によって目標が異なることもあるが、大きな生きがいにつながるものである。また、異年齢集団で一緒に行なうことも楽しい。津山市第5次総合計画及び新津山市

スポーツ推進基本計画の推進が着々と進められ、全国的に知られている大会もあれば、気軽に参加できるものもある。全国大会に出場する選手の激励会、各種スポーツ団体の取組やニュースポーツなどを新聞報道でよく見聞きすることは、「見る」「参加する」「ささえる」スポーツが根付いてきたものと思われる。また、トップアスリートや有名なチーム・選手の試合や演技、パラスポーツの活躍を目の当たりにすることは、大きな夢と希望を与える。そのような誘致活動を進めていただきたい。

(3) 芸術・文化活動の充実

津山市は市民や市民団体による自主的で多彩な文化活動が盛んである。市主催の活動や文化活動に関わる団体への支援体制もできている。市内各場所に文化活動の拠点があり、ホール活用も積極的に行なわれている。また、若い芸術家や文化活動をしている人の発表の場や機会の提供は、若い人が文化活動に気軽に参加しやすい雰囲気をつくる。

津山文化センターの大規模改修が完了すれば、多彩で活発な文化活動の大きな流れができることが想定され、芸術・文化のまち津山市が一層周知されることだろう。そういう動きの見える事業の中で、なかなか進展していない事業については、今後どうするか慎重な検討が課題として残る。

(4) 歴史文化の継承と文化財の保存・活用

「文化財保存活用地域計画」が策定され、津山市の貴重な文化財の保護や整備が地域の団体などと協働で行われていることは、市民とともに文化財を保護・整備する意識を醸成すると思われる。また、史跡や指定文化財の保護、歴史資産の保存と町並み景観の整備も計画的に実施されている。

郷土史学習に役立つ「新修津山市史」の完成が待たれるが、その編さんのなか広報活動や「美作学講座」をはじめとする各種講座や講演会もされている。また、郷土博物館は休館中でも小学生向けの体験学習や、大人を対象とした歴史学習など様々な活動で津山市の貴重な歴史や人物・文化財の広報活動を大切にされている。

洋学資料館は宇田川榕菴など、郷土の著名な郷土出身者の人物や業績を分りやすく展示や広報をされ、小学校6年生の館内見学は津山の歴史や洋学に関する学習に効果的である。

大人はもちろんのこと、子どもたちが郷土の歴史や文化・著名な人物を学び郷土愛を育むことは、津山の教育の大きな柱であり健全な子どもたちの育成に大きく資することになり、学力向上の基盤となることと考える。

おわりに

「つなぐ力」を育む～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～というフレーズは何と素晴らしいものだと思った。その教育理念の実現のため、教育委員会の各課がそれぞれの事務分掌を実直に遂行していることがわかり、敬意を表したい。

孤立、孤独、引きこもり...という言葉がマスコミ等でよく取り上げられ、社会問題になっているなかで、あえて「つなぐ力」を前面に出していることは津山市の先見性を感じる。子どもも大人もしっかりつながることで、人は安心と希望そして生きがいを持つ。「郷土つやまで生活してよかった」という思いを誰もが持つような施策を、教育委員会が所掌する分野で多彩に展開されたい。人がつながることで、人は人を呼び、人が集まる。安心、安全、頼ることができ、夢や生きがい、そして笑顔であふれる特色ある津山市であり続けていただきたい。

今後の教育委員会の対応の方向性（教育委員会総評）

今後の教育委員会の対応の方向性（教育委員会総評）

1 点検・評価結果について

平成 30 年度の点検・評価は、昨年と同様、以下の手法で行いました。

- (1) 教育委員会の活動及び教育委員会が管理・執行する事務、津山市教育振興基本計画に定める 9 領域 25 項目について評価を実施
- (2) 外部評価員 2 名によるヒアリングの実施
- (3) 指摘事項等を踏まえた点検・評価報告書の策定

この報告書は、平成 29 年度から実施している「第 2 期津山市教育振興基本計画」の定期的な点検とその結果を分析・評価するものです。

点検・評価の進め方については、まず、外部評価員に項目ごとの説明を行い、その後、質疑応答を行いました。そして、客観的な視点で各施策や重点目標の評価を、総評としてまとめていただきました。

評価員からは、教育委員会の活動や幼児・学校教育にかかわる分野について、

- 総合教育会議では、教育の条件整備や児童生徒の身体保護等緊急を要する措置など市長と一層の連携を図り、教育の充実に努めてもらいたい。
- 幼児教育については、特別支援教育の充実や教育・保育機関の連携も円滑に図られており、就学前教育が今後、充実していくことを期待する。
- 「津山市における保幼小接続カリキュラム」が確実に実施されているが、定期的に研修と実践の点検をされたい。
- 近年増加傾向にある特別な支援を必要とする幼児の実態に応じては、実践的な研修を積むとともに関係課・機関と連携しながら、津山市特別支援教育推進センターの機能（通級指導も含む）を生かし、様々なニーズに実践で対応されることを継続されたい。
- 「問題データベースの活用」「補充学習」「家庭学習」などで教育効果を高めている学校などの授業公開や、生活習慣調査、情報モラル教育などは PTA を巻き込んだ取組も必要。
- 外国語教育は教員の実践力を高めるため、計画的に中学校と相互乗り入れを行い、指導力を向上されたい。
- 業務アシスタントや校務支援員の配置、校務支援システムの採用により、教師が子どもと向き合える時間を確保できるようになったが、今後一層取組の充実をお願いしたい。
- 「津山市特別支援教育推進センター」の存在価値は大きく、関係課・機関と柔軟に連携し、特別な教育的ニーズに対応されたい。
- 長期欠席者や不登校にある児童生徒が増加傾向にあるのは心配。専門家とつながり鶴山塾の機能や教育支援アドバイザーの粘り強い活動で早期に改善されたい。
- 道徳は、人が人としての基本的な考え方や行動を学ぶものであり、津山市の子どもの実情に即した市独自のスタイルの模索に取り組んでもらいたい。
- 美作大学と連携したりズムジャンプはよい取組である。継続してもらいたい。
- 朝食の摂取率が小中学校で昨年度より低下しているため、基本的な生活習慣・食習慣について啓発活動とより具体的な行動計画を検討されたい。
- サテライト指導の取組は、通級指導に在籍する子どもたちにとって学校生活の質が向上するも

のと認識。今後も続けてもらいたい。

- 地域に開かれた学校運営では、公開された学校評価書を各校園がどのように生かすかが大切。
- 空調施設整備について、すべての学校の普通教室及び特別支援学級の教室で整備が完了したことは、子どもたちの健康管理の面で非常に喜ばしいこと。さらに洋式トイレの整備にも順次取り組み、快適な環境を整えてもらいたい。
- 学校給食に関して、給食がおいしいとの評価を聞く。日頃の点検を徹底し、安全な給食を提供と、子どもたちの健康と発育に鑑みた献立等に取り組んでいただきたい。
- 学校プールの統廃合や運営の見直しについては、児童生徒がプールに親しむことや泳力向上、安心安全面と費用対効果面などあらゆる方向から慎重審議を進められたい。
などの意見が出されました。
- さらに、生涯学習、スポーツや文化にかかわる分野では、
- 青少年の健全育成の推進については、街頭指導等の活動により一定の成果が上がっている。
- 義務教育終了後の所属のない青少年への支援や新しい健全育成の施策への取組を進めてもらいたい。
- 学校・家庭・地域が連携して地域全体で子どもたちを支える環境づくりは、年々取組が充実してきている。
- 40周年を迎えた図書館の様々な企画は、市民のニーズを的確に捉え、参加したいと思えるものが多い。
- 保健師等と連携した啓発資料の発信、子育ての課題に対応する相談や講座は、子育てに悩みを持つ親にとってありがたい。
- 「親学講座」や「地域資源や地域史を活用した講座」、「つやま子ども未来塾」など家庭・地域の教育力に資するよい講座を開催している。
- 最近の課題に応じた講座の開発や、子どもから大人さらには親子で触れ合える学習機会を提供してもらいたい。
- 生涯学習の推進は、拠点施設の整備も含めて、着実に成果が上がってきている。今後もライフステージや現代的課題に対応した学習機会を提供し、市民が学びの楽しさを享受できるように多くの事業を展開してもらいたい。
- 「参加するスポーツ」は年々浸透が図られている。7月に本市でニュースポーツ「ピックルボール」の日本選手権が開催され、市内の競技人口が増えているという。「参加するスポーツ」「見るスポーツ」「ささえるスポーツ」を総合的に推進し、今後も市民の多くがスポーツに親しむ機会の充実を図ってもらいたい。
- トップアスリート・有名なチーム等の試合等やパラスポーツの活躍を目の当たりにできるように誘致活動を進めてもらいたい。
- 俳句ブームもあり西東三鬼賞の応募数は以前より増加している。学校への出前講座も行っており、津山は俳句のまちと言えるのでは。この魅力を観光のポイントとして、関係部署と連携し全国に発信してもらいたい。
- 津山国際総合音楽祭は、津山市の文化度を広く発信し、経済波及効果を生むことができた。新たな音楽祭は市民ニーズを取り入れつつも、この点も考慮した形になることを期待したい。
- 津山文化センターの大規模改修が完了すれば、多彩で活発な文化活動の大きな流れができることが想定されるが、なかなか進展していない事業については、今後どうするか慎重な検討が課

題である。

- 「文化財保存活用地域計画」が今後国の認定を受け、可能な限り文化財及び文化財の研究成果が広く公開されることになる。昨今の歴史ブーム、城ブームもあり、市外の多くの人を招来する絶好の機会になってくれることを期待する。
- 郷土史学習に役立つ「新修津山市史」の完成が待たれるが、広報活動や「美作学講座」をはじめとする各種講座や講演会も行っている。
- 郷土博物館は休館中でも小学生向けの体験学習や、大人を対象とした歴史学習など様々な活動で津山市の貴重な歴史や人物・文化財の広報活動を大切にしている。
- 洋学資料館は宇田川榕菴など、郷土の著名な郷土出身者の人物や業績を分りやすく展示・広報し、小学校6年生の館内見学は津山の歴史や洋学に関する学習に効果的である。
- 子どもたちが郷土の歴史や文化・著名な人物を学び郷土愛を育むことは、津山の教育の大きな柱であり健全な子どもたちの育成に大きく資することになり、学力向上の基盤となると考える。

といった貴重なご意見をいただきました。結果としては、各項目とも概ね良好に施策が進められている旨の評価をいただきました。

2 今後の対応の方向性について

まず、学力教育についてですが、重点取組のひとつである平成30年度全国学力・学習状況調査の結果は、残念ながら全国平均を上回ることができず、目標未達成となりました。調査結果から、小学校低学年からの基礎基本の徹底が不十分なこと、理由や説明等「書くこと」に課題があること、活用力については依然として課題があることが明らかになりました。つまづきの解消に向けて、授業、家庭学習、確認テスト、放課後学習の学びのサイクルを回し、基礎学力の確実な定着と活用力の育成に向けた授業改善等に取り組む必要があります。

そこで、津山市全体の教員の指導力向上を図るため、新学習指導要領で教科化される外国語科や特別の教科道徳のそれぞれに研究校を指定し、公開授業や研究協議を通して、指導力を育成します。また、日々の授業においても、授業改革推進チームの具体的な助言を通して、教員の授業改善に対する意識の高揚を図ります。

確かな学力の定着には、落ち着いた学習環境と学習集団づくりが重要です。施設整備については、劣化状況等に応じて計画的年次的に行い、安全・安心な学習環境の充実に努めます。

一方、家庭学習時間の確保も課題です。宿題の計画を立て見通しを持たせる、宿題の出し方(量や質)を校内で共通理解する、家庭へメディアコントロールへの協力を求める等児童・生徒が自主的に家庭学習に取り組む習慣を身につけるような工夫を行います。

幼児教育では、すべての子どもの健やかな成長のため、質の高い教育の提供が求められます。そのために、幼稚園等においては教育課程編成、実施、評価、改善を行う「カリキュラム・マネジメント」を実施し、全職員の協力体制のもと、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図ります。小学校教育への円滑な接続を進めるため「津山市保幼小接続カリキュラム」を活用して、研修や交流活動を実施し、一層の連携をすすめるとともに、特別支援教育の充実に努めます。新たに開園した2つの幼稚園については、スムーズな運営ができるように教育環境を整備し、教育内容の充実に努めます。

次に、生涯学習、芸術文化、歴史、スポーツの分野では、ライフステージごとに市民ニーズに合った学習とその成果を人や地域に還元することや子育て支援の充実が求められています。

生涯学習については、「第4次津山市生涯学習推進計画」にもとづく生涯学習施策の推進を図り、学びの成果を活かしたひとづくり、地域づくりに取り組みます。公民館や図書館等の社会教育施設を拠点に、NPO法人、大学・高校や企業等と協働し、地域資源を生かした学習機会の充実を図ります。また、青少年健全育成団体やPTA等の関係団体を支援しつつ、青少年の支援体制を整え、地域、学校、家庭との連携を進め、地域で子どもを支える環境づくりの充実に努めます。

スポーツについては、津山市第5次総合計画、津山市教育振興基本計画及び平成30年3月に策定した「津山市スポーツ推進基本計画」に基づき、引き続き「生涯スポーツの振興」「スポーツ環境の整備」「競技力の向上」「スポーツを通じた地域の活性化」を基本施策としてスポーツの推進に努めます。施策実現のため、時代に即応したスポーツメニューの提供、スポーツ団体との連携強化、優秀な指導者の育成への協力、スポーツ団体や市民ニーズに沿った施設整備計画の策定、安全な施設の提供のための改修・修繕の実施、選手の激励会や激励金の交付、スポーツ大会・合宿への助成による誘致の拡大等を積極的に推進してまいります。

芸術文化については、市民や市民団体による多彩な文化活動を促進するため、さらなる文化活動の支援や施設整備などの環境の整備、文化財の保存・活用の推進に取り組みます。また、郷土の歴史や文化財に触れる機会を充実するなど、郷土を愛する心を育てる郷土学習を推進します。

その他、津山文化センターの耐震補強及び大規模改修工事、津山郷土博物館の耐震改修事業及び展示リニューアルや音楽祭などに係る諸課題についても、市の関係部署としっかりと連携し取り組んでいきます。

そして、市長が主催する「総合教育会議」では、市長と私たち教育委員とが様々な課題に対して意見交換を行うことで、教育施策の現状や課題を共有することができ、教育委員会制度が果たしてきた「教育の政治的中立性の確保」や「継続性・安定性の確保」、「地域住民の意向の反映」を維持しつつ、さらに市長と十分な協議を重ね、連携を図りながらも、それぞれの権限の中で市民の意思を反映した教育施策の推進に取り組んでいきます。

最後に、津山市教育委員会では、教育スローガン『ふるさとを愛し 心豊かに たくましく 未来へ「つなぐ力」を育む』のもと、第1期計画から引き継いだ教育育基本理念の実現を目指して、9領域、25項目に区分した教育施策に取り組んでいるところです。また、第2期計画を具体的に進めていくため、毎年度「教育行政重点施策」を定め、公表しています。

この「点検・評価の結果」及び「学識経験者の総評」を踏まえ、教育環境の変化や市民ニーズ等へ対応しつつ、引き続き、津山市の教育の充実・発展のために、高い使命感と責任感をもって本計画を確実に実行・推進してまいります。

資 料

平成30年度津山市教育行政重点施策の体系

津山市第5次総合計画（平成28年度～37年度）

【子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり】

子どもが健やかに育つために
幼児教育・保育の充実

次代を担う子どものために
義務教育の充実
教育環境の充実
家庭・地域の教育力の充実
青少年の健全育成

心も体も元気であるために
生涯学習の推進
スポーツ活動の充実
芸術・文化活動の充実

歴史・文化を守り伝えるために
歴史文化の継承と文化財の
保存・活用

津山市教育振興基本計画（第2期）（平成29年度～33年度）

教育基本理念

「つなぐ力」を育む ～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～

津山市の教育がめざす人づくり

- (1) 国際社会を生き抜くため、確かな学力を身につけ、生涯にわたって向上心に燃え、自分自身の道を切り拓く人
- (2) 心身ともに健康で、自己を認め、互いの人権を尊重する、豊かな人間性を備えた人
- (3) 愛情あふれる家庭を築き、人や地域とのつながりを大事にし、自己の力を地域に活かし、いきいきと活動することができる人
- (4) 津山の自然・歴史・文化・社会をかけがえのないものと感じ、郷土に誇りをもって次代に伝えることができる人

教育基本目標

- (1) 個の確立とつなぐ力を育む【幼児・学校教育】
確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、郷土の自然、歴史、文化、産業等、津山の特色を活かした幼児・学校教育に努めます。
子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、教育的ニーズに応じた、安全で質の高い教育環境の充実に努めます。
自己を認め、互いの人権を尊重し、生命を尊び、自然を愛し、環境を大切にすることを育てるように努めます。
高い倫理観と確かな指導力、豊かな人間性をもった教職員の育成に努めます。
グローバルな視野に立ち、広く社会に貢献できる人材の育成に努めます。
- (2) 身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】
家庭において、基本的な生活習慣を身につけ規範意識が醸成されるよう、家庭教育を支援し、学習機会の充実に努めます。
家庭や地域が継続的に連携・協働して学校を支援し、子どもたちの成長を支える活動ができるように努めます。
地域の間で連携を深め、青少年の自立と社会性を育成する活動の推進に努めます。
高等教育機関や民間企業と協働し、子どもたちや市民が新しい知識や技術を学ぶ機会の提供に努めます。
- (3) 過去から現在、未来へつなぐ力を育む【生涯学習・スポーツ・文化】
すべての市民が、生涯にわたり資質や能力の向上を目指して、自主的に学習できる機会と場の提供に努めます。
郷土が育んできた文化や伝統を保存・継承し、歴史や先人の偉業を学習することで、ふるさとに誇りと愛着をもてるように努めます。
生涯スポーツを振興し、健康で潤いのある生活ができるように努めます。
まちに文化が薫るよう、伝統文化を尊重しながら新しい文化の創造に努めます。

平成30年度教育重点施策

教育スローガン

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく 未来へ 「つなぐ力」を育む

平成30年度教育予算の内訳(6月補正後)

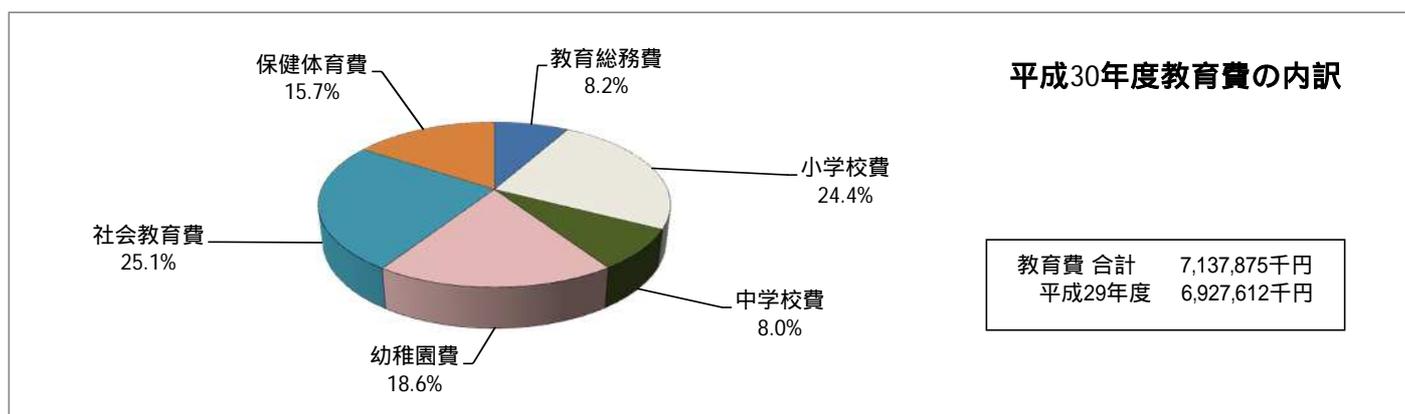
(単位:千円)

主要	事業名	概要	予算額	主要	事業名	概要	予算額
1	教育委員会運営費	教育委員会の運営経費(報酬、旅費等)。	4,264	25	小・中学校連携事業	中1ギャップ解消のための研修会(中学校区)開催、中中連携パンフレット印刷費等。	320
2	事務局職員給与関係費	職員の給与、手当等。	272,039	26	放課後学習サポート事業	放課後を中心に補充学習を実施する小中学校(30校)に支援員を配置(賃金等)。	4,903
3	事務局運営費(経常)	事務執行に必要な経費(文書委託料、消耗品費、通信運搬費等)。	5,497	27	落ち着いた学級づくり支援事業	児童生徒と学級集団の状態を把握する心理検査費用(小5、中1対象年2回)。	1,672
4	事務局運営費(臨時)	産休・病休等の代員臨時職員賃金、社保等。	3,192	28	教師業務アシスト員配置事業	教師アシスト員を配置し、教員の負担軽減を図る。	3,640
5	事務局施設管理運営費	小中学校施設の維持管理・運営経費(嘱託作業員報酬、設計システム賃借料等)。	2,838	29	部活動指導員配置事業	市内中学校に部活動指導員を配置し、部活動顧問教員の負担軽減と部活動の資質向上を図る。	2,030
6	就学指導及び学事事務費(経常)	事務嘱託員報酬、教育支援委員会委員報酬、就学支援システム利用料等。	7,371	30	確かな学力向上対策事業(学力実態把握事業)	市独自の学力テスト実施により学力等の検証改善を図る(調査委託料等)。小5(2教科)、中1(2教科)。	1,802
7	教職員指導研修事業	教職員の指導力向上のための研修会講師謝礼金、指導主事研修旅費等。	258	31	確かな学力向上対策事業(わかる授業推進事業)	児童生徒のつまづき等に応じた学習プリントの作成、学校等での活用(システム利用料等)。	5,800
8	小学校生徒指導対策事業	不登校等、生徒指導の課題への対応や支援(ボロボロつやま相談員賃金等)。	762	32	確かな学力向上対策事業(教師力向上対策事業)	教職員の指導力向上のための校内研究支援事業(20校)講師謝礼金等。	1,160
9	中学校生徒指導対策事業	いじめ問題対策基本方針に係る委員会委員報酬、進路指導書の購入費等。	556	33	確かな学力向上対策事業(英語活動講師派遣事業)	ALT(7名)派遣により児童生徒の英語力向上や国際理解の推進等を図る(委託料)。	33,496
10	小学校不登校対策実践研究事業	不登校対策担当教員の研修会や専門家とのケース会議の実施(謝礼金等)。	560	34	確かな学力向上対策事業(学級編制弾力化事業)	35人学級編制実施のため、加配教員の配当がない小学5・6年(7学級)に市費非常勤講師を雇用(賃金等)。	14,622
11	生徒指導・不登校対策事業(教育支援アドバイザー派遣事業)	心理や福祉の専門家を学校へ派遣し、児童生徒への適切な指導と就学を図る(謝礼金)。	2,000	35	理科教育等設備整備事業	小中学校の理科備品等の計画的な整備(備品購入費)。	1,500
12	生徒指導・不登校対策事業(登校支援員配置事業)	不登校への組織的対応力の向上を図るため、登校支援員を配置する費用(賃金等)。	11,152	36	学校ICT環境整備事業(小学校)	授業に活用するデジタル教科書、教員用タブレット、無線LAN等の整備費用。	46,376
13	小学校教科充実事業(経常)	授業充実のためのPC教室PCリース料。	43,797	37	学校ICT環境整備事業(中学校)	授業に活用するデジタル教科書、教員用タブレット、無線LAN等の整備費用。	22,023
14	中学校教科充実事業(経常)	武道や音楽の外部指導者による指導充実に係る費用等(謝礼金、修繕料等)。	310	38	ふるさと学習推進事業	郷土の伝統や文化を学ぶ授業(ゲストティーチャー謝礼金)、施設見学等(バス借り上げ料)。	3,575
15	小学校教科充実事業(臨時)	小学校道徳教科書及び指導書購入費用。	4,839	1～38 教育総務費 合計			584,626
16	特別支援教育推進事業	特別支援教育推進センターの非常勤相談員賃金や委員謝礼金等。	3,291	39	小学校一般管理費(経常)	電気、ガス、水道利用料等、学校配当予算、校務PCリース料、学校司書等の配置に係る経費。	316,112
17	岡山チャレンジ・ワーク14事業	8中学校(2年生)を対象とする、社会性、自立心等を養うための職場体験活動費用(謝礼金等)。	361	40	小学校一般管理費(経常)	県小学校教育研究会負担金、学校警察連絡協議会負担金等。	642
18	学校人権教育事業	津山市幼保小中人権教育研究会協議会への補助金、研修会講師謝礼金等。	477	41	小学校給食管理費	給食支援員の配置など、給食配膳室の運営に係る費用(賃金、点検委託料等)。	5,674
19	小学校課外活動費	陸上や水泳記録会などの各種校外活動費(バス借り上げ料、会場使用料等)。	2,427	42	小学校施設管理費(経常)	学校施設の維持管理(軽作業員賃金、修繕料等)。	95,130
20	中学校課外活動費	全国大会などの各種校外活動費(バス借り上げ料、出場者激励金等)。	9,490	43	小学校施設管理費(臨時)	老朽遊具の撤去新設や消防設備点検、空調設備改修等(施設整備工事費等)。	11,000
21	小学校スクールヘルパー配置事業	障害介助、発達障害、日本語指導等の特別な支援を必要とする児童の支援員賃金等。	35,528	44	小学校安全安心対策事業	門扉、フェンス及び防犯カメラの年次的な設置費。	4,000
22	中学校スクールヘルパー配置事業	障害介助、発達障害、日本語指導等の特別な支援を必要とする生徒の支援員賃金等。	14,667	45	小学校施設整備事業	築30年以上経過する老朽化施設の基本的機能回復、トイレの洋式化等の整備費。	1,228,820
23	特別支援学級サポート事業	多人数特別支援学級(12学級)への非常勤講師配置、きめ細かな指導の実施。	15,359	46	小学校教育教材費	教育活動に必要な教材や教材備品費(学校配当予算)。	19,720
24	学校教育研究センター関係費	全員研修会や各部会研修会により、教職員の指導力向上を図る(講師謝礼金、会場使用料等)。	672	47	小学校遠距離通学補助費	通学のためバス又は鉄道を利用する児童の保護者への補助金支給。	6,808

主要	事業名	概要	予算額	主要	事業名	概要	予算額
48	小学校準要保護等児童対策費	経済的理由から就学困難な児童の保護者に学用品や通学用品、給食費等を支給。	53,589	70	つやまっ子家庭教育推進事業	親学講座や子育てワークショップ研修などの実施委託料。	1,080
39～48 小学校費 合計			1,741,495	71	つやま子ども未来塾事業	企業見学や津山の歴史・文化などの子ども向け地域学習講座の実施委託料。	450
49	中学校一般管理費(経常)	電気、ガス、水道利用料等、学校配当予算、校務PCリース料、学校司書等の配置に係る経費。	149,749	72	つやま育ち特別交流事業	津山育ち特別交流事業委託料	1,200
50	中学校一般管理費(経常)	県中学校教育研究会負担金、学校警察連絡協議会負担金等。	1,501	73	視聴覚ライブラリー管理運営事業	視聴覚教材・機材の購入費等。	272
51	中学校給食管理費	給食支援員の配置など、給食配膳室の運営に係る費用(賃金、消耗品費等)。	1,126	74	陶芸の里管理運営費(経常)	勝北陶芸の里工房、久米ふれあい陶芸センターの管理運営経費(指導員報酬等)。	6,491
52	中学校施設管理費(経常)	学校施設の維持管理(軽作業員賃金、修繕料等)。	38,869	75	生涯学習施設管理運営費(経常)	ふれあい学習館、加茂まなび館等の管理運営経費(指導員賃金、光熱水費等)。	7,669
53	中学校施設管理費(臨時)	臨時的な修繕や消防設備点検、高木伐採経費等。	15,000	76	芸術文化振興事業(経常)	芸術文化振興事業に必要な委託料、負担金、補助金等。	4,460
54	中学校施設整備事業	築30年以上経過する老朽化施設の基本的機能回復、トイレの洋式化等の整備費。	300,442	77	文化振興財団助成事業	津山文化振興財団への補助金。	27,650
55	中学校教育教材費	教育活動に必要な教材や教材備品費(学校配当予算)。	10,170	78	文化振興事業基金運用事業	文化振興事業基金への利息の積立金。	18
56	中学校遠距離通学補助費	通学のためバス又は鉄道を利用する生徒の保護者への補助金支給。	2,953	79	アート・デザイン賑わい拠点整備事業	アート&デザイン賑わい拠点整備事業に必要な備品購入費等。	3,150
57	中学校準要保護等生徒対策費	経済的理由から就学困難な生徒の保護者に学用品や通学用品、給食費等を支給。	52,900	80	アート・デザイン賑わい拠点事業	旧妹尾銀行林田支店の運営に係る指定管理料等。	5,148
49～57 中学校費 合計			572,710	81	アート・デザイン賑わい創出事業	アーチデザインフェスティバル企画運営委託料	4,000
58	幼稚園管理職員給与関係費	職員の給与、手当等。	167,745	82	インバウンド等観光誘客環境整備事業	旧妹尾銀行林田支店の多言語案内板作成設置委託料等	668
59	幼稚園一般管理費(経常)	公立幼稚園の運営経費(電気、ガス、水道利用料、修繕料等及び嘱託職員等の経費)。	77,893	83	ベルフォーレ津山等管理運営事業(経常)	音楽文化ホール・ベルフォーレ津山及び文化展示ホールの指定管理料等。	56,985
60	幼稚園預かり保育事業	通常の保育時間終了後、家庭で保育が出来ない場合に預かる経費(東・鶴山・加茂)(嘱託・臨時職員等の経費)。	6,126	84	成人式関係費	成人を祝う会の開催に要する費用(記念品代、案内状印刷費等)。	1,331
61	幼稚園特別支援対策事業	通級指導教室幼児部(北小・西小)の運営経費(嘱託職員等の経費)[定住自立圏連携事業]	7,978	85	少年団体等育成事業(経常)	子ども会連合会補助金、子どもまつり事業委託料等。	949
62	幼稚園再構築施設整備事業	東西に新築設置する2園の整備に係る経費(設計・造成・建築費等)。	1,057,147	86	奨学金を活用した大学生等の定着促進事業	帰ってきんちがい若人応援基金積立金、周知等に必要経費。	60,340
63	幼稚園就園奨励費	公立私立幼稚園間の格差是正(私立幼稚園就園奨励費補助金等)。	14,159	87	不登校児童生徒の社会的自立サポート事業	臨床心理士相談員報酬等	1,920
64	幼稚園教育振興費	幼児教育の研究発表や職員研修、合同保育(わいわいまつり)に係る経費。	407	88	鶴山塾管理運営費(経常)	鶴山塾の管理運営に必要な経費(相談員報酬等)。	12,718
58～64 幼稚園費 合計			1,331,455	89	鶴山塾管理運営費(臨時)	進入路の舗装の修繕料	380
65	社会教育総務職員給与関係費	職員の給与、手当等。	163,963	90	青少年育成センター運営費(経常)	青少年の健全育成事業に必要な経費(指導員報酬、事業委託料等)。	13,256
66	社会教育総務一般事務費(経常)	事務執行に必要な経費(社会教育委員報酬、関係団体負担金等)。	1,367	91	健全育成事業(経常)	PTA連合会事務局経費等。	4,170
67	社会教育総務一般事務費(臨時)	社会教育主事資格取得に係る経費(旅費・講習負担金)	90	92	放課後子どもプラン推進事業	放課後子ども教室委託料等。	5,058
68	生涯学習推進事業(経常)	生涯学習の啓発や講座に必要な経費(「まなびい」の発行、講師謝礼金等)。	2,186	93	地域学校協働本部事業	津山市教育協議会への事業委託料。	6,200
69	生涯学習推進事業(臨時)	第4次津山市子ども読書活動推進計画アドバイザー謝金及び計画の印刷製本費	162	94	文化財一般事務費(経常)	文化財保護事務執行に必要な経費(消耗品費、通信運搬費等)。	355

	事業名	概要	予算額		事業名	概要	予算額
95	文化財保護普及事業費	文化財保護委員会及び文化財調査報告会の開催に必要な経費。	398	120	中央公民館生涯学習推進事業	各種生涯学習事業推進のために必要な経費(講師謝礼金、委託料等)。	964
96	指定物件等保存管理事業	指定文化財の保存・管理等に必要経費(管理委託料等)。	5,135	121	地区公民館生涯学習推進事業	各種生涯学習事業推進のために必要な経費(講師謝礼金、委託料等)。	5,758
97	美作国分寺跡保存整備事業	史跡整備のための用地取得費、補償費等。	54,486	122	公民館整備事業	二宮公民館改築に係る工事費等。	130,831
98	津山城跡保存整備事業	史跡津山城跡保存整備計画(第1期)に基づく保存整備(設計委託料等)。	40,746	123	図書館職員給与関係費	職員の給与、手当等。	89,000
99	指定文化財保存修理事業	国・県指定重要文化財の修理事業等補助金。	10,575	124	図書館管理運営事業(経常)	図書館の管理運営に必要な経費(図書購入費、機械賃借料、駐車場使用料等)。	114,620
100	歴史文化基本構想策定事業	審議会委員報酬、基本構想策定委託料等。	3,415	125	図書館管理運営事業(臨時)	開館40周年記念事業に要する経費(講師謝礼金等)。	100
101	インバウンド等観光誘客環境整備事業	箕作阮甫旧宅のWi-Fiスポット利用料	80	126	津山文化センター管理運営費(経常)	津山文化センターの管理運営に必要な経費(指定管理料等)。	27,006
102	インバウンド等観光誘客環境整備事業	津山城跡ほか多言語翻訳・音声案内データ作成委託料	512	127	加茂町文化センター管理運営費(経常)	加茂町文化センターの管理運営に必要な経費(指定管理料等)。	14,485
103	緊急発掘調査事業	民間開発等に伴い緊急に発生する発掘調査に必要な経費(作業員賃金等)。	290	128	勝北文化センター管理運営費(経常)	勝北文化センターの管理運営に必要な経費(指定管理料等)。	15,537
104	市内遺跡発掘調査事業	遺跡の保存を目的として計画的に実施する試掘・確認調査等に必要経費。	2,650	129	津山文化センター施設整備事業	耐震補強・大規模改修にかかる設計・監理委託料、工事請負費等。	520,299
105	受託発掘調査費	民間開発や公共事業に伴う発掘調査に必要な経費(作業員賃金等)。	11,000	130	郷土博物館職員給与関係費	職員の給与、手当等。	30,398
106	歴史民俗資料館管理運営事業(経常)	勝北・久米・加茂歴史民俗資料館の管理運営に必要な経費。	227	131	郷土博物館管理運営事業(経常)	郷土博物館の管理運営及び調査研究に必要な経費(嘱託員報酬、委託料等)。	11,839
107	歴史民俗資料館管理運営事業(臨時)	阿波民具展示館の解体による経費。	3,400	132	登録有形文化財・旧津山市庁舎改修整備事業	耐震改修に係る実施設計委託料等。	20,025
108	知新館管理運営費(経常)	知新館の管理運営に必要な経費(管理委託料、光熱水費等)。	648	133	市史編さん事業	資料編「考古」の版下作成ほか調査・研究等に必要経費。	12,613
109	箕作旧宅管理運営費(経常)	箕作阮甫旧宅の管理運営に必要な経費(文化財管理連絡業務委託料等)。	1,168	134	洋学資料館職員給与関係費	職員の給与、手当等。	25,683
110	城東むかし町家管理運営費(経常)	城東むかし町家の管理運営に必要な経費(施設管理等委託料等)。	2,777	135	洋学資料館管理運営事業(経常)	洋学資料館の管理運営及び調査研究に必要な経費(嘱託員報酬、委託料等)。	17,684
111	文化財センター職員給与関係費	職員の給与、手当等。	44,217	136	洋学資料館管理運営事業(臨時)	洋学解説書籍刊行等に要する経費。	950
112	文化財センター一般管理費(経常)	弥生の里文化財センターの管理運営及び埋蔵文化財事務に必要な経費。	15,483	137	インバウンド等観光誘客環境整備事業	洋学資料館のWi-Fiスポット利用料	96
113	文化財センター一般管理費(臨時)	中庭のクスノキの伐採費用。	1,000	65～137 社会教育費 合計			1,789,107
114	公民館職員給与関係費	職員の給与、手当等。	23,576	138	保健体育職員給与関係費	職員給与、手当等	193,145
115	公民館一般事務費	公民館の管理運営に必要な人件費等(館長・事務員等報酬、賃金等)。	80,298	139	保健体育一般事務費	事務執行に必要な経費(スポーツ推進委員報酬、保険料等)。	2,273
116	中央公民館管理運営費(経常)	中央公民館の管理運営に必要な経費(消耗品費、光熱水費、委託料等)。	6,949	140	体育振興関係費	スポーツ教室関係費、優秀選手等激励金、体育行事委託料、団体運営補助金等。	27,111
117	地区公民館管理運営費(経常)	地区公民館22館の管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	32,880	141	スポーツ大会・合宿誘致事業	市内体育施設を利用し市内に一定以上宿泊するスポーツ大会・合宿の開催団体への補助。	5,000
118	地区公民館管理運営費(臨時)	高野公民館駐車場整備費用。	10,300	142	学校給食事業	学校給食従事者への研修(講師謝礼金等)、給食未納者督促費用等。	3,543
119	公民館分館管理運営費(経常)	公民館分館の管理運営に要する経費(管理人報酬、光熱水費、委託料等)。	5,323	143	小学校保健事業	嘱託医報酬、検査手数料、健康診断(人間ドック)・ストレスチェック委託料等。	43,190

	事業名	概要	予算額		事業名	概要	予算額
144	中学校保健事業	嘱託医報酬、検査手数料、健康診断(人間ドック)・ストレスチェック委託料等。	16,232	159	勝北総合スポーツ公園管理運営費(経常)	勝北総合スポーツ公園の管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	23,782
145	給食センター職員給与関係費	戸島・草加部学校食育センター職員人件費。	56,163	160	勝北総合スポーツ公園管理運営費(臨時)	プール起流ポンプ取替修繕。	1,000
146	給食センター管理運営費(経常)	戸島・草加部学校食育センター運営に係る経費。	469,764	161	久米総合文化運動公園管理運営費(経常)	久米総合文化運動公園の管理運営に必要な経費(プール指定管理料等)。	32,529
147	給食センター管理運営費(臨時)	戸島学校食育センター調理室回転釜、太陽光パネル修繕。	8,000	162	久米総合文化運動公園管理運営費(臨時)	空調機器修繕費用。	1,000
148	施設管理事務費	体育施設の管理に必要な経費(修繕料、体育施設予約システム利用料等)。	5,399	163	グラスハウス管理運営費(経常)	指定管理委託料。	109,200
149	スポーツセンター管理運営費(経常)	津山スポーツセンターの管理運営に必要な経費(光熱水費、管理委託料等)。	18,695	164	グラスハウス管理運営費(臨時)	修繕料。	7,000
150	弓道場管理運営費(経常)	弓道場の管理運営に必要な経費(消耗品費、光熱水費、委託料等)。	235	165	津山総合体育館管理運営費(経常)	津山総合体育館の管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	19,625
151	東部運動公園グラウンド管理運営費(経常)	東部運動公園グラウンドの管理運営に必要な経費(光熱水費)。	80	166	津山東体育館管理運営費(経常)	津山東体育館の管理運営に必要な経費(嘱託職員報酬、岡山県への負担金等)。	4,162
152	西部運動公園管理運営費(経常)	西部運動公園の管理運営に必要な経費(光熱水費、修繕料、委託料等)。	2,160	167	陸上競技場管理運営費(経常)	陸上競技場の管理運営に必要な経費(臨時職員賃金、光熱水費、委託料等)。	26,684
153	西部体育館管理運営費(経常)	西部体育館の管理運営に必要な経費(消耗品費、光熱水費、委託料等)。	1,943	168	陸上競技場管理運営費(臨時)	陸上競技場第2種公認更新に係る費用。	2,366
154	東部体育館管理運営費(経常)	東部体育館の管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	1,718	169	アイススケート場管理運営費(経常)	アイススケート場の管理運営に必要な経費(光熱水費、管理運営委託料等)。	16,891
155	福岡体育館管理運営費(経常)	福岡体育館の管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	261	138～169 保健体育費 合計			1,118,487
156	津山東武道場管理運営費(経常)	津山東武道場の管理運営に必要な経費(消耗品費、岡山県への負担金等)。	610	教育費 合計(千円)			7,137,880
157	加茂町スポーツセンター管理運営費(経常)	加茂町スポーツセンターの管理運営に必要な経費(光熱水費、委託料等)。	17,692				
158	阿波体育施設管理運営費(経常)	阿波ふるさとふれあい会館、阿波グラウンドの管理運営に必要な経費。	1,034				



平成30年度 津山市磯野計記念奨学金特別会計

(単位:千円)

平成30年度 津山市奨学金特別会計

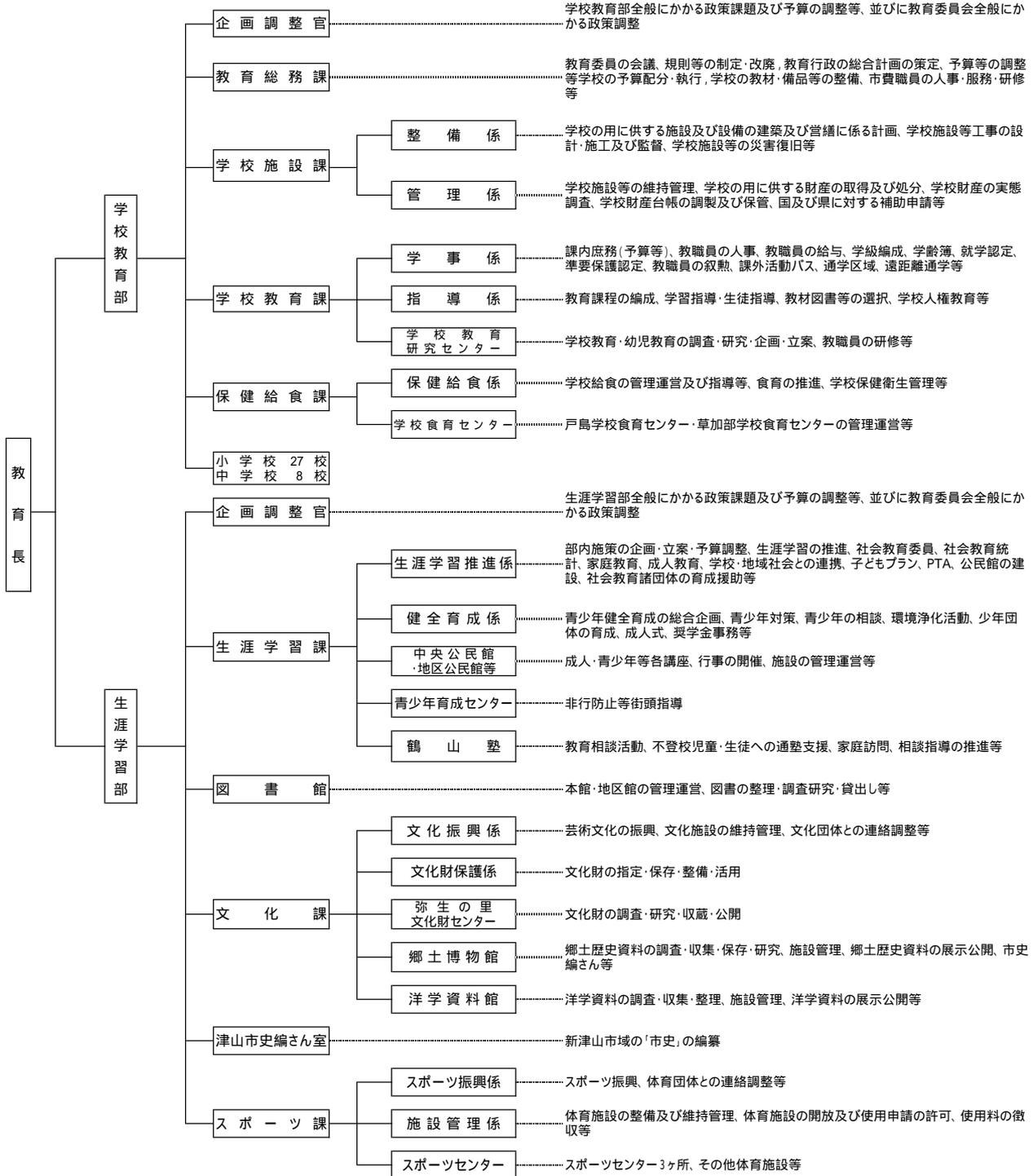
(単位:千円)

主要	事業名	概要	予算額	主要	事業名	概要	予算額
162	奨学金貸付金 合計	大学、短期大学、専門学校専門課程、高等学校専攻科へ進学又は在学。	5,634	163	奨学金貸付金 合計	高校、大学、短期大学、専門学校専門課程、高等学校専攻科へ進学又は在学。	9,217

(3)平成30年度教育委員会の執行体制と事務分掌

(平成30年4月1日現在)

<教育委員会事務局>



<補助執行を行う市長部局の部署>

